

三、オブ、エニセイ、レナ諸河上の重荷運輸組織、及び此等諸河の支流において荷物の交換を行ふための港灣設備（ノグイー港、イガルカ、チクシ等）

四、船舶及び飛行機に對する各獨立せる石炭、石油供給根據地の聯鎖設置

換言すればアジアの裏地は、新たに北氷洋を大いに利用せんとするロシアの玄關たらんとしてゐる。

北海航路中央行政廳『グラウノエ・ウブラウレニエ・セウエノウオ・モルスコウオ・プチ』はオットー・シユミットの下に獨立の行政省として設置され、人民委員に直屬することになつた。この行政省は北緯六十二度以上のソ聯領土一千萬平方キロの地域を開發する、獨占的認可狀を有してゐる。この地方における一切の事物は該省の管轄内にある。例へば海洋、河川、上空の運輸、都市建設、馴鹿の飼育、無線及び氣象觀測所、土民の教育、土地、動植物の科學的研究等即ちそれである。北極の住民はレニングラードにおける北極民協會、北氷洋協會等なる三個の特別研究所における研究の題目である。

### 三、若し戰爭勃發せば

昨年『グラウセウモルプト』省は米貨十億弗を支出して活動をなし、四萬人の男女は北氷洋移住をなし、政府から手當を受けてゐる。ロシア人はこの事業をイギリスの侵略的東印度會社を近代化し、社會化せるものだと言つてゐる。要するに組織的な開拓機構である。それがロシア國民に與へる利益は戦時におけると同様平時においても、亦馬鹿にならないことは否定出来ない。若し豫期されてゐる如く、それがシベリヤにおける廣大なる天然の富をソ聯のため利用し得るに至らしめればその價値は頗る大なるものがあらう。されど現在においては、此等の廣大なる資源開發の軍事的意義の方が經濟的意義よりも注目に値する。例へばソ聯が日獨兩國と戰爭すると假定すれば何うであるか——この假定は決して不可能ではない。

戰爭勃發後最初に起り得べきことは、ドイツがレニングラードを封鎖し、日本が浦鹽を封鎖することである。最近地中

海において経験したところを以てせば、黒海の港灣はロシアに取つて決して外界への安全なる出口ではない。ロシアの歐洲及び極東艦隊の協同動作は不可能となる。主なる工業國からの物資及び軍需品の輸入は問題外である。五千哩を離れてゐる二つの戦線は、たつた一個の鐵道線路によつて繋がるのみである。而かも此の線路は平時においてすら必需品の輸送で過重な負擔をなしてゐる。又日本の飛行機がシベリヤ國境に沿ふて、この線の一地點以上を破壊するのは朝飯前のことだらう。

#### 四、北氷洋の戰術的價値

ロシアはかくして西、南、東の三面から包圍されて終ふ。然し北方においてのみ獨立せる、又中斷せざるロシアの沿岸が横はつてゐて、一年の大部分氷結する。されど三ヶ月は——或は三ヶ月以上に亙るかも知れぬがそれは氣候の循環と北氷洋飛行の能率増進及び經驗如何による——航海が可能なことが過去四季に亙る實驗によつて證明された。

ムルマンスクからベーリング海峡に至るこの大洋の聯鎖は、三個の主なる觀點から見れば價値あることが分る。

- (一) 軍艦を歐洲から極東へ、又極東から歐洲へ移動出来る。
- (二) 歐露の組織完備せる工業生産品と、シベリヤの農産物を交換することが出来る。
- (三) 現存せる政治的及び商業的關係の下に許される範圍において、アメリカ、カナダ及び南米諸國から軍需品の供給を仰ぐことが出来る。

#### 五、大海軍造船所の完成

且つ一年を通じてモスクワ地方及び、ウクライナにおける軍用飛行機工場から生産する無限の飛行艦隊は、北方沿岸を通じ、又北極海を横斷して飛行することが出来る。この航空はシベリヤ横斷鐵道に沿へる航空路よりも、距離が少しく短かいばかりでなく、敵飛行機が接近することは絶対にない。嚴寒中北氷洋の氷結面下を潜水艦が航行し得るや否やの問題は未だソ聯の何人も公式に言及してゐないが、サー・ハバート・ウィルキンスが最初に探検の目的で考察したこの計畫に

對し、眞面目な考慮が拂はれてゐるやうである。

四八

予(英國エコノミスト誌編輯次長デー・クラム・ハットンのこと、以下同じ)はいつぞや北氷シベリヤにおける、新中心地の二三を訪問する機會を得た。先づムルマンスクを見たが、同地には相當規模の大きな海軍造船所が完成に近づいてゐた。此等の造船所は歐洲における、ロシア艦隊の主なる海軍根據地となるであらう。ムルマンスクは北氷洋圏内に在るに拘らず、ガルフ・ストリームのお蔭で一年中氷結しないのである。これに反しレニングレードは、毎年數ヶ月の間氷に封されて終ふ。コラ半島の端から船舶はフィンランド灣、キール運河、又はドイツとデンマークの間の、海峽及びイギリス海峽の三面からの攻撃を受けることなしに、大西洋に達することが出来る。夏季中太平洋へはパナマ運河又は、紅海による通路の約半分の距離に過ぎない通路で東方から達せられる。

ムルマンスクからなるレニングレードとの交通は、最近完成したバルチック・ホソイトシー運河を通つて内部から行ふことが出来る。この運河の水深はムルマンスクがすでに、北海航路の主要線となつてゐるに拘らず、未だに公式に發表されてゐない。ムルマンスクはレニングレードへ至る船舶及び、鐵道への石炭供給地である。この石炭はソ聯がノールウェーから得た利權たる鑛山のある、スピッツベルゲンから送られる。

#### 六、重要な物産集散通路

予はまたエニセイ河の下流に在る、イガルカといふ都會を訪ふた。この都會の人口は時季によつて増減はあるが、一萬四千人か二萬人の間を往來してゐる。同地は永久的設備のある港灣を有し、同港には機械化せる積荷設備、木材工場、發電所、劇場、病院、學校、農園等がある。イガルカは河の上流四百哩にして、北氷洋圏北方百二十哩の地點に位し、永久に氷結せる凍原帯の上に在り、シベリヤ木材輸出の中心地である。木材は夏季同市に向け、筏として送られ、翌年の冬期に材木に切られ、多くはイギリスの不定期船で八九月の候輸出される。戦時においてイガルカはアルハンゲルか、又はムルマンスクを経て歐洲から來る船舶と中央シベリヤから來る河川用船舶の間に、七月から十月迄積荷の交換を行ふに用ひ

られる。かくして、ノウオシビリスクとイルクック間の地域に、歐洲物資を供給し、同時に同地の物資を歐洲へ送るのである。ノヴィ港はオプ河地方に對し、同様の目的に供せられる。即ち西部シベリヤの豊穰なる小麦産地、クズネスクの石炭及び鐵鋼生産地、及び（トルクシブ鐵道によつて）中央アジアの綿花栽培地は此の沿岸に位してゐる。チクシはレナ河の支流にあつてベーリング海峡を経て來り、又バイカル湖及びヤリチア地方から送られる物資の集散地である——而して偶然にも同地は同地方の産金を輸出するに安全な通路を提供するに至つた。

#### 七、燃料供給上の利益

予は又エニセイ河に在るディックソン島、ノヴァヤ・ゼムリヤ上にあるマトクキン海峡、タイミル半島西側に在るドゥヂンカ・ノリルスクの礦區、及びその東側に在る石油と鹽の中心地たるノルドウイク等を視察した。ディックソン島は北氷洋の主なる無線交換所であつて、北極放送局の全機構の中心地である。そして短波長電話によつて、モスクワと浦鹽間の如何なる主要都市とも聯絡することが出来る。同島に碎氷船や商船のために廣大な石炭貯藏所がある。マトクキン海峡は歐洲往復する船舶のため、北極根據地へ至る三大入口の一であつて、北海航路上の難所を経て航行する商船を擁護すべき、碎氷船の活動根據地として役立つてゐる。

デュディンカ・ノリルスク地方はノリルスク山脈が石炭、鐵、銅、ニッケルを豊富に埋藏してゐるので重要視されてゐる。殊にニッケルはソ聯が今日迄の所餘り生産しないから特に重要視される。エニセイ河上に在るデュヂンカと河岸の東方七千哩に當るノリルスクとの間に、狹軌鐵道が建設され同地の礦區を直接北部河川運河組織へ聯絡させてゐる。その石炭區は、北海航路の中心に位してゐるので、同航路及びエニセイ河の運輸に多大の便利を與へてゐる。それはイガルカに寄港する船舶又は全航路を航行する船舶に對し、貨物の船腹を節約せしめるからである。最後にノルドウイクは北シベリヤの罐詰業のために、鹽を供給するばかりでなく、ヤクチア沿岸に石油層を有するのである。かくて北氷洋におけるディセル大汽船及び、飛行機のために燃料供給の機會を與へてゐる。北氷洋の石油層において工場を設計するため、技師は

機械類と共に昨年ノルドウイクに送られた。

#### 八、飛行機運搬上の利便

予は北氷シベリヤ航空路の總機構の一部を飛行機で視察した結果、同地方の土地構成及び飛行操縦士及び機關士の人員について研究するの機會を得た。此等の飛行士は殊に北氷洋の状態に適應するやう訓練され、他のソ聯飛行士とは別團體になつてゐる。北極地方に使用される機體は皆浮舟とスキーとを備へてゐる。飛行根據地は河上、海岸、湖水等にある。蓋し同地方の氣候の状態が夏季における着陸地を建設することが非常に困難なのである。冬期においては着陸は氷上において行はれる。一九三六年の夏アント二十五號がチカロフ（この人はモスクワからカリフォルニアへ最初の飛行を行つた）の指揮下に飛行した結果、モスクワから極東支北氷洋を横斷し、フランス・ヨセフランド、ノルドウイク、ヤクチアを經由して無着陸飛行の可能なことが證明された。

この飛行機はモスクワを出發して五十六時間二十一分で、黒龍江上のニコラエウスクに着陸した。同飛行機は殆んど八千哩の飛行圏を有することが、この北氷洋飛行によつて證明された。而して若しチカロフが鐵道線路に沿へる航空路を選んだなら、二百哩の距離を短縮することが出來たのである。但しその場合には少くとも全飛行航路の最後の三分の一の飛行中絶へず外國飛行機の飛行圏内を飛ぶことになる。北氷シベリヤを通じて、沿岸と奥地に沿ふて無数の航空根據地があつてその全部は無線所や氣象臺を備へ、その中の二三には修理所や訓練ある機關士が控へてゐる。カリフォルニアからアメリカ西部沿岸を上つて、ベーリング海を横斷し、北海航路に沿ふて行つた飛行もアメリカで購入せる飛行機を極東のソ聯領土に運搬することが可能なことが證明された。この航路も敵機の來襲から安全である北極横斷飛行に對しても同様にいへる。

#### 九、金を喰ふ北氷洋開發

尙軍需品をアメリカからアメリカ、カナダの兩岸に沿ひ、それからベーリング海峡を通つてレナ河の河口へと送ること

が出来るから、北氷洋の開発は益々重要になつて来る。たとひアメリカの中立法が現在の儘施行されとしても、ソ聯の船舶は軍需品を積載するためにアメリカの西岸諸港に寄港し、それから（必要の場合三哩の制限内で）北方へ航行し、敵の軍艦から攻撃される危険を冒さないで、ベーリング海峡を通過することが出来る。ベーリング海峡とその南方地方は微弱なソ聯の軍隊で支配権を確定することが出来る。それより先その航海は全然ソ聯の無電所又は、空中偵察隊の援助、指導、忠實に信頼しなければならぬ。この空中偵察隊は船舶の先に立つて飛行することによつて、浮氷の中を案内するのである。又結氷せる部分を通過させるために、碎氷船の援助も必要である。此等の海洋に敵が侵入することは全然不可能である。

北極地方の開発は引合はない仕事である。海路は一年の中僅か三ヶ月又は三ヶ月半のみ航行出来るのであつて、それですら頗る努力と費用を要するのである。然しこの航路は、ロシアの直面する難問の部分的解決には役立つものである。北極地方の移住が成功すれば、ソ聯に得るところは多大なものがあるだらう。

## ○國家總動員法案の輪廓

### 一、近代戦の發達と國家

國家總動員法案の提出は、昨年の夏、支那事變勃發直後にも問題となつたのであるが、實際には具體化せず、臨時資金調整法、輸出入品臨時措置法、船舶管理法、軍需工業動員法を事變にも適用する改正法等の個別的な法律案が提出されたに過ぎなかつた。國家總動員法で総合的にやらねばならぬところを、個別的法律を以て行ふことにしたのであつた。それから半年ちかくを経過し、日支事變は長期戦となるに至つて、いよいよ國家總動員法の提案をみるに至つたわけである。

この法案の内容には、既に資金調整法や輸出入品臨時措置法で政府に命令権が與へられてゐる規定も多々ある。それを

今さら動員法で規定する必要があるではないか、とも考へられるが、これには、左の諸點が違つてゐる。

(一) 昨年夏の戦時立法には、支那事變後一ケ年といふ風に、適用が今次の事變に限局されてゐるが、國家總動員法は、戦時又は事變の際は何時でも適用される。

(二) 現行の戦時立法は、その命令の内容は個別的であるだけに具體的な方策が明示されてあるものが多い。しかし本法では大體、「勅令の定むるところにより、必要な命令をなすことを得」といふ風に、内容が一切白紙となつてゐる。

本法案の目的は、要綱の劈頭にも謳つてあるやうに、戦時又は事變に際し、國防目的達成のため、國の全力を最も有効に發揮せしむるやう、人的及び物的資源を統制運用するにある。

法案の要綱を一瞥して誰しも駭くことは、政府が準戦時乃至戦時に際し、取得する權限の廣汎な點であらう。政治、經濟、教育、言論機關、病院醫業等の凡ゆる國家構成要素を、戰爭目的に向つて動員し得るとき權限が、本法案の通過の暁には政府の掌中に歸せられるのである。その内容に就ては後述する。

そこで、一體、何故に戦時乃至準戦時に當り、かくも廣汎にして多岐なる權限の取得が政府に必要とされるか、問題とされるわけであらう。それは申すまでもなく、近代戰爭が物的にも、人的にも、精神的にも國家に課する負擔が老大なものとなつたからである。近代戰爭は、國家の全力を消耗するに非ざれば必勝を期しがたいほどに、老大な人的負擔を國家に要求する。近代戰發達の象徴として大正七年四月、寺内内閣當時、軍需工場動員法が制定されたこと、對比すれば明白であらう。對戦立法として、軍需工業動員法から「國家總動員法」への發展は一面日本の國際的危機の深刻化を物語るものといへ、實に、近代戰爭の負擔が飛躍的に増高したことを反映するものに外ならない。

法案の規定する範圍が、政治、産業、金融、貿易、勞働問題、言論機關に及んでゐることは、前述したごとくである。讀者の理解を易からしめるために、出来るだけ整理してみる。

## 二、政治部面

政治部面では、先づ準戦時段階において、總動員計畫に必要な権限を規定してある。

(一) 國民を總動員計畫に參與させる命令權

(二) 總動員計畫に基づき演習、訓練をさせる権限

さらに戦時(事變を含む)段階では

(一) 國民を總動員業務(後述)に従事させる権限

(二) 團體、法人を總動員業務に従事させる権限

(三) 労働者の政治運動の制限・禁止を命ずる権限

(四) 集會又は多衆運動の制限・禁止權

## 三、經濟部面

國家總動員が戦時經濟と相違するところは、後者が單に一國の經濟を戰爭目的に動員するに對し、總動員は政治、文化、科學、教育等の一切を全面的に動員する點にある。しかしながら、戰爭は勞働力と物資との過剩消費である以上、國家總動員の核心が經濟部面に置かれることは、否みがたいのである。即ち産業、勞働、金融、貿易に關して最も廣汎な権限が含まれてゐる。

法案は、まづ總動員物資と、總動員業務とを規定してゐる。

## 四、總動員物資

(一) 軍用物資(兵器、艦艇、彈藥等)

(二) 被服

(三) 飲食物飼料

(四) 衛生用物資

(五) 輸送手段一切(馬匹を含む)

(六) 通信手段一切

(七) 土木建築材料照明具

(八) 燃料

(九) 電力

(十) 以上の物資の生産、修理、配給、保存に必要な原料、材料機械器具等

これだけが總動員物資と呼ばれるものなのである。この含まれない物資として、他に何があるだろうか。先づ大したものはないのである。しかも

(十一) 前各號に掲ぐるもの、外勅令を以て指定する國家總動員のため必要な物資

といふ箇條書きが附されてゐるのだから、事實上は、國內に存する一切の物資が總動員物資となり得るのである。而して、政府は、以上の總動員物資に付き、本法により

A 準戦時段階

(一) その生産・修理業者に對し生産・修理を命ずる權限(利益保證獎勵金下附をなし得る)

(二) その生産・修理業者に、生産・修理に必要な設備をなさしめる權限

(三) その生産者や試験研究機關に試験研究を命令する權限

B 戦時段階

總動員物資に付き生産、修理、配給、讓渡、處分、使用、消費、所持、移動に關し必要な命令を發する權限を持つのである。これが、私有財産制度の制限を意味することは申すまでもないが、しかし、國民としては、一切の犠牲を甘受して

も必勝を期さなければならぬ。

政府は、戦時に際し、總動員物資に付き、以上の命令を發し得る外その處分をなすことも、使用、收用をなすことも出来る権能が與へられるのである。以上の物中心の廣汎な権限に加へて、さらに仕事の立場から一切の命令を發し得る権限が與へられることになる。

先づ總動員業務の内容を掲げる。

#### 五、總動員業務

- (一) 總動員物資の生産、修理、配給、輸出、輸入又は保管に関する業務
- (二) 運輸業務
- (三) 通信業務
- (四) 金融業務
- (五) 病院、醫術業、衛生業務
- (六) 教育、訓練業務
- (七) 試験研究の業務
- (八) 情報、啓發宣傳業務
- (九) 警備に関する業務
- (十) その他總動員に必要な業務

以上が國家總動員業務である。國民生活の主要な仕事は、殆んど包含されてゐる。

これらの總動員業務に付き、準戦時には、事業主又は、事業を擔當し得る者に對し、總動員計畫の設定をさせることができ、且つその計畫に基いて必要な演習訓練をさせる権限が與へられるのである。

戦時に際しては

- (一) 國民を徵用して、總動員業務に従事させる権限
- (二) 國民又は法人、その他の民間團體に、國又は地方公共團體の總動員業務へ協力を命ずる権限
- (三) 總動員業務に関する會社の擴張に關し、資本吸収上、商法の制限とは別段の定めをなし得る権限
- (四) 總動員業務に關する設備又はそれに轉用できる設備、これに供用するため必要な土地、家屋、倉庫、その他の工  
作物を管理使用收用できる権限

- (五) その従業員を供用させる権限
- (六) 必要な特許發明、登録實用新案を實施する権限
- (七) 總動員業務に關する設備の新設、擴張、改良を命ずる権限
- (八) 業務者に統制協定の設定、變更、廢止に關する認可を受けしむる権限
- (九) 統制協定の設定、變更、取消の命令權
- (十) 業務者に對し右統制協定に加盟乃至服従させる権限
- (十一) 事業主に統制組合設立を命ずる権限
- (十二) 事業主に組合強制加入を命ずる権限

これだけの權限が總動員業務に關して本法によつて與へられるのであつて、その範圍の廣大にして多岐なること、未嘗有といふべきであらう。

經濟部に關する統制運用は、以上の手段を以て充分と思はれるが、しかも、尙重大な規定を含んでゐる。

#### 六、勞 動 統 制

勞働力に關する動員が戰爭目的の上に重大なことは衆説を要しまいが、本法案でも詳細な規定をもつてゐる。

A 準戰的段階

- (一) 國民の職業能力の調査をなす權限
- (二) 學校、養成所、工場、事業場その他に對し、總動員に必要な技能の養成に付き命令をなす權限
- (三) 總動員計畫に基き演習訓練をさせる權限

B 戰時段階

- (一) 徵用して總動員業務に従事させる權限
  - (二) 總動員業務に協力させる權限
  - (三) 従業員の使用、雇入、解雇賃銀を始め諸勞働條件に付き必要な命令をなす權限
  - (四) 勞働爭議の豫防、解決、作業場閉鎖、作業中止、勞務中止その他勞働爭議に關する行爲の制限、禁止の命令權
- 勞働力に關する統制は、殆んど完全である。

七、産 業 統 制

産業統制に關しては、總動員物資並びに總動員業務に關する廣汎な權限に就て述べた部分と重複するから、再び繰り返す必要もない、たゞ戰時段階において、

- (一) 會社の設立、資本の増加、合併、目的變更、社債の募集、株式拂込の制限禁止權
- (二) 會社の利益處分に關する干渉權
- (三) 従業員の使用、雇入、解雇、賃銀その他勞働條件に關する干渉の權限
- (四) 設備の新設、擴張、改良を制限禁止する權限
- (五) 必要な設備の新設、擴張、改良を命ずる權限
- (六) 統制協定の締結、變更、廢止に關し必要な命令をなす權限

(七) 統制組合の設立に關する命令をなす権限

(八) 鑛業權、砂鑛權、水の利用に關する權利を使用又は收用する権限。

ザツと、産業に關して、政府は、これだけの尨大な權限を持つのである。事業會社は、資本、勞働人員、勞働條件、生産、原料、配給利益處分一切に關する命令を受けることを承知すべきであるが、さらに價格に關しても命令されるのである。これは價格統制として後で述べる。

こゝで注目されるのは、利益處分に關して必要な命令を發する權限であらう。公知のごとく、當面の支那事變に際し、尨大な公債發行の必要に迫られてゐる。十三年度では一般會計分、特別會計分と事變公債とを合して、五十億ちかくに上るだらうといはれてゐる。この公債發行に關聯して、その消化が大藏當局の最も痛心するところであり、いまのところ獨逸の例を真似て事業會社の利益の一部に強制保有を命ずべしとの意見が多いのである。右の事情に結びつけて利益處分の干渉權が重大な意味が持たれるのである。

#### 八、金融統制

金融機關の統制に關しては、既に資金調整法があるが、この法律は支那事變に限られてゐる。國家總動員法中には、戦時において

金融業務を取扱ふ者に對し、資金の運用に關し必要な命令をなすことを得と規定してゐる。

金融業者の資金の運用に關し必要な命令を發することが出来る以上は、その投資運用に公債の強制保有を命じて、公債消化の途を拓くことは易々たるものであらう。さらに、解釋の仕方によつては、戦時における預金の取付けに對してモラトリアムを施くことも、充分に可能であらう。しかし、モラトリアムに就ては、前陳の總動員業務中の規定で適當に行はれ得るであらう。

しかし、金融統制は、これだけではない。  
會社の設立、資本の増加、合併、目的變更、社債の募集、若くは第二回以後の株金の拂込に付き制限、若くは禁止を爲すことも金融統制である。

#### 九、貿易統制

政府はさらに本法案が實施に移されば、戦時において輸出入に關する一切の命令權を持つことができるのである。  
現行の輸出入臨時措置法が今次事變だけの特別法であるのとは違つてゐる上に、その勅令を以て命令をなし得る範圍が頗る廣大である。現在の輸入制限や輸入禁止、その他の貿易管理に加へて、場合によつては貿易國營——ソヴェト聯邦のごとき——すらも、この條項を以ては可能なのである。なにしろ、

政府は戦時又は事變に際し、國家總動員のため必要ある時は勅令の定むるところに依り、輸出若くは輸入に關し必要な命令をなすことを得。

とあるのである。而してさらに、

- (一) 輸出税又は輸入税を課し、その増加減免も出来る。
- (二) 總動員物資の輸入業者に對し原料、材料の一定數量を保存させることもできる。

#### 一〇、價格統制

以上、各經濟部面の強力な權限に加へて、さらに政府は、本法案より、左の價格に關し必要な命令を戦時段階においてなすことができる。

- (一) 物價
- (二) 運賃
- (三) 保管料

- (四) 保険料
- (五) 賃貸料
- (六) 加工費
- (七) その他の価格

これだけの價格に就て、必要な命令權を持ち、しかも賃銀に就ても必要な命令を發し得るのであるから、これは、完全にして高度な價格統制權の保持であらう。

一、言論機關統制

以上の政治、經濟全般に互る廣汎な權限取得に加へて、言論機關に就ても、また自由の權限を揮ふことが許されるのである。

- (一) 新聞紙又は出版物に對し、國家總動員上、支障ありと認むる事項の掲載を制限又は禁止
- (二) 前項の制限又は禁止に違反したる事項を掲載したる新聞紙又は出版物の發賣及頒布の禁止
- (三) その新聞紙又は出版物の刻版及び印本の差押へ
- (四) 新聞紙の發行の停止

これだけの廣汎な權限を、戰時、事變に際して要求するものが、國家總動員法案であり、この外、補償規定並びに検査、調査の規定がふくまれてゐる。

二、法案の影響

この法案は、それが公布されたからといつて、直ちに、その廣汎な權限を實施に移すといふものではない。總動員計畫に關する部分を除けば、戰時又は事變に際してのみ發動され、且つそれも勅令を以て定められるのである。故に、法律が制定されたからといつて、直ちに國民が法律の影響を蒙るといふのではない。(以下省略)

## ○日本海軍を論ず (有終)

日本は一九三六年の始め、彼の倫敦海軍會議を憤然として脱退して以來、海軍に關する事柄は一切嚴秘に保つ方針を堅持してゐる。然るに之に反して他の主なる列強は、お互に建艦計畫の知照まで約束した。日本は勿論、斯かる情報は全然輸出禁止である。

日本に於ては之が新聞雜誌に載せることが固く禁ぜられてゐるばかりでなく、議會に於ても海軍の建艦計畫に關する質問などはせぬことになつてゐる、されば議員達は細目は知らないで、只もう建艦に對する豫算を賛成するだけである。

斯くの如き奇妙な狀況にあるので、現下日本に於ける建艦の隻數であるとか、タイプがどうのといふやうなことを詮索するのは愚の骨頂である。唯だ海軍工廠と私立造船所が、いつれも一の取除きなく多忙を極めてゐることだけは確かな事實である。

日本では財政でどんなに困つても、經濟が行き詰つても、其の實際軍備に影響が及んで來るのは最後の最後であることは疑ひのないことであり、また此の場合、就中、海軍が更に特種の地位に置かれることも必定である。日本では西太平洋の制海權を握ることを以て、國家生存の第一義と心得て、之を頗る重大視してゐる。同國は英國と同様、物資の輸入に俟たなければ生活してゆけない。従つて大陸との交通線をば人間の動脈に譬へても敢て溢言ではない、それが切られては生命がないからである。是に於て乎日本は西太平洋に於て、少しでも海權不均衡の兆があると、頗る其の神經を突らせるのである。さればどこかの國で以て、日本の沿岸へ容易に航進出来るやうな所に海軍根據地でも造らうものなら、必定之を以て開戦の理由と見ると、さう考へて敢て疑ひのないことである。

日本が他の事に比べて最も恐れてゐることは、第一は蘇聯邦海軍の太平洋上に於ける復活であり、第二は米國の戰略的

地點たる布哇・比島・ガムを結ぶ空中連絡線の進展である。

六二

日本が前述の如く最後の海軍會議に於てあんなに非妥協的な態度に出なかつたならば、右の第二の危険は永久に起らなかつたであらうことを考へると、あのときの態度が不思議に思へて仕方がない。當時、米國としては一九二二年のワシントン條約を繼續する氣で居り、いな之に就ては寧ろ熱望してゐる程であるから、會議を圓滑に進めて行けば、今頃米國の西太平洋根據地増強などを氣に病む必要はなかつたであらう。

然るにあの場合、日本は唯だ面目を立てるに急にして、總てのものを犠牲に供して仕舞つた。其の結果は、前述の如く、太平洋上に於て漸次飛石傳ひの交通線を完成せんとする勢を馴致し、數年ならずして米國をして東洋海面に強力なる航空勢力を集注し得るの地位を築くに至らしめた。

蘇聯邦に關しては、其の太平洋方面の海軍勢力は今尙論するに足るものはない。尤も浦鹽に大型潜水艦を置いてゐる話は始終耳にするけれど、之とても大したものではあるまい。併し確かなことは、西比利亞沿岸に大部隊の航空勢力を集めたこと、及び其のために日本の工業中心が其等の襲撃距離以内に暴露されてゐるといふ事實である。斯くの如くになつて來たものであるから、歐洲大戰以來、日本は始めて直接攻撃に直面することになつた。

日本は現在支那に對して戰爭をしてゐるが、思ふに此の事たるや、一方大陸に經濟的領分を擴げ且つ之を維持し、他方に多年口にせられた日蘇戰爭の起つた時、最早支那をして之に容喙、干渉せしめないやうにとの、一石二鳥の擧に出でしめたのであると見ても強ち穿つた話ではなからう。

日蘇戰爭はいよく始まるであらうか？ それは兎に角、日本としては其の戰略的一翼―浦鹽がよく之を代表する―を獲得する迄は高枕安臥は出來ないであらうことは何人も肯定し得ることである。

新嘉坡は此の意味に於ては異つた立場にある。同根據地は日本に對して脅威ではない、又なり得ないものである。但し一たび日本が富裕なる東印度諸島をどうかしようと企てるならば、それは別問題であつて、其の時こそ始めて新設の新嘉

坡根據地はよき防禦物たる價値を發揮するに至るであらうから、こゝに艦隊を集中する限り、日本に對する大なる妨礙物となる譯である。

近代の日本海軍は紙上に示されたものよりも實質はより強大である。何となれば彼の國は、東洋海面以外に責任を以て守らねばならぬ領地を有せず、從つて専ら其の艦隊をぢつと集結して待機することが出来るからである。且つまた前記浦鹽からのふだんの脅威を除く限り、日本自體は海軍の戰略的見地からしては實に理想の所に位置してゐる。即ち西は臺灣琉球から北は千島列島に連互し、恰も太平洋方面からの攻撃に對しては、地勢其のものが既に萬里の長城を形成して居る。加ふるに要所々々には難攻不落の要塞が築かれて居り、其處には軍港、要港が置かれてゐる。されば其の艦隊は常に太平洋のみならず、日本海、黃海及び支那海のどこへでも活動するのに最も都合よく出来てゐる。

斯くの如き狀況であるから、日本が自國附近の海面に於て戰ふ限り、天下無敵と謂はねばならぬ。併し一旦南方、外國の領地征服を企てんか、必ずや日本自體の危險にぶつかるに相違なからう。

今試みに西太平洋の地圖を披いて見るとき、なぜ日本の海軍並に陸軍の首腦者が此の度の大陸的進出に躊躇なく邁進したか、よく判る。世界の政治的現狀に於て、各國擧つて反日武力を以て之に當ることの至難なるは勿論であるが、之は先づ別問題としても、日本は其の地位が現在の戰略的好地位に存する限り、どこからも攻撃し得ないと確信してゐるやうである。併し數年ならずして、此の狀況は日本に對し實質的に不利な方に變つて來たかも知れなかつた、恐らくさうなつたであらう。そこでいま日本は、支那を軍事的に再び立ち上ることの出來ぬ迄にたゞいて置いて、而して將來一等國と戰ふ際に支那方面からは何等の危懼を受けぬやうにと、大努力を傾注してゐるのである。

戰艦比數は一九三〇年の倫敦海軍條約で以て武装解除したものであるが、之が現在では全く復活状態にあると云はれてゐる。果して之が眞實なりとせば日本は目下完全な戰艦十隻を有して居り、且つ少くとも二隻の新戰艦が建造中であることは疑ひのないところである。

前記一九三七年の海軍會議當時、即ち日本で海軍の嚴秘の幕の下りない直前に、日本の海軍當局の聲明したところでは、將來の建艦計畫としては、主として、水上輕艦艇及び潜水艦充實の方針に向けられるといふことであつたが、今日は勿論之を以て正確な事實として取扱ふ譯には行かない。過去に於て、日本は常に巨艦主義に執著した歴史もあり、旁々此の級の勢力を維持するに現在大努力を拂つてゐることは蓋し想像に難くない。

航空母艦が新建艦計畫の中に含まれてゐることも或る程度確かである。此の事は特に日本の海軍が航空勢力を特に重大視して居り、事實既に一大勢力を樹立して居るに見ても判ることである。即ち其の第一線六百機から成る評判の航空部隊を有し、海の空軍としては世界で米國に次ぐ優勢力である。八吋砲を裝備する新重巡洋艦は、就役中の十二隻の外に尙建造中のものがあると思はれる。何となれば、米國が此の級の巡洋艦十八隻を保有するに對し、日本が晏如として既成の如き劣勢で我慢してゐる譯がないからである。

八、五〇〇噸の巡洋艦六隻は、六・一吋砲十五門の武装を有するものであるが、是等は既に竣工したものもあり、艦装中のものもある。尙上記六隻の他に若干隻起工されたものがあるらしい。今若し日本海軍に、近く四隻を下らぬ巡洋艦の就役を見るとすれば、日本は近く四十隻から成る最近代式の巡洋艦隊を有することになる。驅逐艦は、新艦は別としても一五隻存在し、其の中の四隻を除けば、全部大戦後型である。又潜水艦勢力としては六四隻であつて、大部分は大型で遠航に適し、特に航續距離を大にして計畫されてゐるといはれてゐる。又「補助艦艇」としては水雷艇、敷設艦、掃海艇、飛行機母艦その他特務艦、いづれにしても皆よく整頓してゐる。

過去に於ては、日本海軍は其の専門技術に就ては、已むなく外國を模倣した時代もあつたが、然し今日では全海軍を通じて國內産である。近代的の軍艦にして、外國のタイプを真似た如きものは一隻もない。思ひ切つたことをやる點に於ては、彼等の造船家は世界一である。従つて計畫實施共に彼等獨自の方針によつて其の業に當つてゐる。机上のデザインでは武装が勝ち過ぎてトップ・ヘヴィーの傾向はあるが、一九三四年顛覆した水雷艇は別とし、他の軍艦で、スタビリティ

の問題のために故障が起つたといふことをまだ耳にしない。

日本海軍では其の建艦に關して近頃出版物による報道を喧かましく言ひ出したが、それよりずつと以前でも、艦装に就ては嚴秘を保つてゐた。軍事普及部の發表するもの、外は、一切外界には要目が判らぬので、目下の日本海軍戰鬥力は之を測定することすら出来ない。

職に東洋にあつて、常に日本海軍と接觸してゐる英國海軍士官は、一般に日本海軍の有能に就て深く印象づけられてゐる。尤もあらゆる點に於て、同海軍が最新のもので艦装されてゐるか、否やに就ては多少の疑ひは有してゐる。

日本海軍自體でも、他國の海軍よりも教育に就ては、より多くの時間を費してゐることを告白してゐる。之を要するに、吾人としては、日本の海軍を額面通りに買ふことが寧ろ賢明であるといへやう、換言すれば日本の海軍を以て、人的にも物的にも、最高の標準にある第一等の戰鬥力を有するものと思へば間違ひはない。

世間往々にして日本は未だ嘗て一等海軍國と戰つたことはないと言ふものがある。即ち彼の一九〇四―五年の日露戰役に於ける大勝利の如きは、恐らく統率に於ても、教育、物的にも劣つてゐた敵に對して勝ち得たに過ぎないと。それは確かにさうであらうが、茲に記憶すべきことがある。上記戰役期間を通じ特に日本海に對して、日本海軍は稀れに見る統率振りを發揮したばかりでなく、若し相手が露西亞艦隊でなく、それ以上恐ろしい敵であつても之を表はしたであらうところの高い能率に關し、幾多見るべきものがあつたことを忘れてはならぬ。

## ○アメリカよ出過ぎるな (外務省情報部發表)

### 一、忠實な友、日本

數年以前予は極東の情勢を研究し、これが報告をなすために、支那において不眠不休の活動をなした。一九三二年に予

は上海における戦鬪を目撃し、その後も亞細亞の諸處において、日支兩國民間の複雑な關係を目的たり観察するを得た。而して今夏即ち一九三七年の夏、予は再び極東に在つて計らずも、今回の支那事變に遭遇した次第である。今回の事變を親しく觀察した結果、予はアメリカにおける輿論の多くが、正しい報道によるよりも、寧ろデマ宣傳によつて作られるものであることを斷言し得るに至つた。これは獨り日支事變に限らず、二十年以前の世界大戦の際もさうであつた。そこで極東に關するニュースに對し、現在行はれてゐる宣傳が除かれ、ありの儘の事情が判明するなら、諸君は世界大戦に對し判斷を修正するの必要を感じたと同様に、今日の日支事變に對しても同じ判斷の修正を必要とするであらう。

アメリカの少數の主戦派のため吾人は、一九一七年に世界大戦に引ずり込まれたが、同じ少數主戦派は、今度も吾人を日支事變の渦中に卷込まうとしてゐる。支那と日本はアメリカからは六千哩も距つてゐる。吾人は日支いづれに對しても全然何等の義務を負ふてはゐない。中立こそ吾人の守るべき唯一の仕事である。日本は未だ如何なる方法においても吾人に危害を加へたことはない。日本はアメリカの國旗が翻つてゐるいつれの領土をも攻撃してはゐない、日本は吾人に所屬せる如何なるものをも冒してはゐない。日本は芬蘭と共にアメリカの戦債全部を忠實に、几張面に返済した少數國の一つである。戦債を支拂はないのみか、種々卑劣な行動をアメリカに對してなしたソ聯、英、佛諸國の野心を満足させるために、吾人はアメリカに對し忠實であつた日本に敵對行動を云々するが如きは全たく沙汰の限りである。

我國の惡質宣傳者、及び彼等に他愛なく騙されてゐる理性のない愚直な國民は、支那における戦争はデモクラシーの危機なりと叫んでゐる。二十年以前も吾人は同じことを聞いたやうだ。吾人は暫らく沈思し、このデモクラシーの危機云々が極東の事態に適用し得るや否やを考へなければならぬ。事實上極東にデモクラシーなるものは存在しないのである。存在しないデモクラシーが危機に陥る道理はないではないか。日本は萬世一系の皇室を上に戴だいてゐる國である。支那に對してはデモクラシーなる言葉を用うるのは全然滑稽である。支那の官吏は人民の投票で選舉されてはゐない。

## 二、宣傳計畫の筋書

支那は過去二十六年の間、軍人の獨裁政治下に在つた。その以前は専制君主國であつた。而して現在の獨裁政治家蔣介石は決して選舉されたのではない。これは何人も知つてゐるところである。彼はその以前の政治家と同様に、政敵を倒して政府の最高地位を獲得したのである。然るに日支事變が起つてから或る種の言論家は、彼を『獨裁政治家』と稱することを遠慮するやうになつたのは注目すべきである。これも巧みな一つの宣傳である。支那をデモクラシー國なりと做し、デモクラシー國家たるアメリカの同情を喚起させることは宣傳計畫の筋書である。

何故にアメリカにおいて、國外の事情に公衆の注意を向けやうとする運動が行はれるのであるか、須らく吾人は我が國內の事情を觀察すべきである。政府の統計によると合衆國內において、一ヶ月に約一千の殺人事件が起つてゐる。日支兩軍を合はせた兵士の三倍の犯罪者がアメリカにゐる。過去五ヶ月間にアメリカにおいて行はれた犯罪が財産に及ぼした損害は、同じ期間に支那の戦場で失はれた財産の十倍に達してゐる。

吾人は國內に強盜、窃盜、強請者、殺人犯人、あらゆる種類のギャンゲ等幾十萬の實際の敵を有する時に、太平洋の彼岸に在る假想敵を語る必要が何處に在るであらうか。

英米の官吏の參加してゐる上海工部局の公報は、租界内に爆彈を投下して戦慄すべき慘劇を生ぜしめた飛行機は、支那の飛行機だつたと斷言してゐる。

### 三、ギャンゲこそ米國の敵

日支事變起つてから今日迄の五ヶ月に、アメリカ國內で殺されたアメリカ人の數は無慮五千名に達してゐる。吾人に危害を加へない日本人と、身分あるアメリカ人數千名を毎年殺してゐるギャンゲといづれが吾人の敵であるか。

吾人は文明を救はなければならぬといふ者があるが、一體文明は何から成立してゐるのであるか。文明を救ふといふ大きな仕事は先づ我が國內から始めなければならぬではないか。

日支事變への干涉論者が好んで用ふる口實の一は、一ヶ年一億ドルを算する對支貿易を無茶苦茶にされるに忍びないと

いふのである。即ちアメリカの對支貿易を保存せんがために、吾人は米支貿易の三倍に上る日米貿易を棒にして、日本をボイコットせよといふのである。これはちよつと常識に合はない話ではないか。アメリカ陸軍省の計算によると、日本と戦ふには五百億ドルの費用を要するといふことである。吾人が支那へ賣る品物に對し大ざつばに見て一割の利益を假定しても、一ケ年に對支貿易から生ずる利益は一千萬ドルに過ぎないのである。然るに日本と戦へば五百億ドルが消へる。即ち對支貿易から生ずる五千年間の利益を犠牲にするのである。これがアメリカの新經濟政策であるか。これがワシントンにおいて熾んに唱道されてゐる新平和、中立政策であるか。

宣傳者は日本が勝利を得る場合に對支貿易は消滅するといふが、これは事實ではない。我が對滿貿易額は一九三三年から一九三四年まで増加した。その後世界經濟不況の影響を蒙り貿易額は減退したが、それも多くの他の國々との貿易に比すると減退の程度は軽い方である。アメリカは日本で生産しない貨物を支那へ賣るのであるから、日本のためアメリカの品物が驅逐されることはない。日本は綿や石油、その他アメリカの輸出品の主なるものを多量に生産してゐない、日本は此等アメリカの生産品を支那の三倍も購買してゐる。それ故に日本を敵とすることは、アメリカ労働者の最善の顧客の一と、比較的貧弱な顧客とを取代へるやうなものだ。

かく如き行爲はアメリカの勞働界に重大な悪影響を齎すが、日本は何等の痛痒を感じないであらう。イギリスはアメリカに日本をボイコットせよと説いてゐながら、自國の貿易は何等の影響を受けないやうに、手段を運ばせてゐることを注意しなければならぬ。英、佛、ソ聯は極東においてアメリカよりも遙か大きな權益を有してゐる。然るに彼等はこの日本ボイコット運動を指導しないのは少し變ではないか。

#### 四、英佛の煽動に乗るな

對日ボイコットの使喚者は曰く、アメリカはよろしく傳統的孤立政策を放棄し世界政局においてアメリカの分を盡さねばならぬと。抑も彼等の言ふところの孤立とは何を指していふのであるか。一九〇〇年以來アメリカは外國との交渉で、

三百八十億ドルを失つたことは統計の示すところである。三百八十億ドル！この巨額はほん同額の我が内債と何等の關係はなく全然別物である。これは外國における我が取引からのみ生じた損失である。この多くは踏倒された貸金である。またその一部は世界中の（支那を含む）學校や病院への寄附金である。兎に角三百八十億ドルは現金若しくは、品物でアメリカから流出し、何等の形においても戻つて來ないのである。南米の最尖端から北氷洋に至る諸國において、またフランスの山岳地帯から支那の平原に亙り、吾人は或は寄附をなし、或は無價値のクレヂットを延長し、或は片貿易を増大せしめることによつて、アメリカの金貨三百八十億ドルを失ひ、世界に向つてサンタ・クローズの役割を演じたのである。これはアメリカの使用人一人について平均一千ドルの出費である。三百八十億ドルを消費して碌に『有難う』とも言はれない。これでも吾人は孤立してゐるとか、我が本分を盡さないとか言はれてゐる。

過去四十年間に吾人は、外國のために二つの戦争を賭した。吾人は戦ふ時にいつも吾人の欲するものゝために戦はないで、他人の欲するものゝために戦ふのである。一八九八年吾人はキューバ人を救ふためにスペインと戦つた。一九一七、八年に吾人は英佛兩國民を救ふためにドイツと戦つた。吾人はフランスに二百萬人の兵を送つた。その中の幾千名かは再び歸つて來なかつた。また幾千名かは毒瓦斯に中毒したは負傷して歸つて來た。何のためにか、誰のためにか、吾人は英佛人の要求に應じ、金を貸し、兵を貸したのである。いまや我が煽動者は再びアメリカを戦争の渦中に捲込み、幾百萬、幾十億を消費せしめ、更に多くの血を流さしめやうとしてゐる。その理由は過去において吾人がその本分を盡さなかつたからださうだ。

##### 五、義理を知らぬ英、佛、支

一體こんな馬鹿氣たことを言ふ者は誰であるか。誰が最初にこんな宣傳をなすのであるか。吾人はこれを知るに遠くを見るに及ばぬ。アメリカで對日ボイコットを主唱する最も活潑な指導者は、東亞における赤化運動に従事せる者である。勿論吾人は日本攻撃をなすために選ばれた犠牲である。アメリカにおける共産主義者や、その秘密の同盟者が對日ボイコ

ットを唱道するのは、これがためである。ボイコットを行へば何か事件が持上がる。事件が持上があれば何んな結果になるかは吾人の能く知るところである。

過去において全世界に對しアメリカがサンタ・クローズの役を演じて如何なる結果を得たか。吾人が助けてやつた國々は親米國となつたであらうか。一九一八年十一月十一日の休戦以來數ヶ月を経ない中に、アメリカ人はフランスで輕蔑された。一九二六年の夏、吾人が恐るゝ戰債の返済方を求めた時に、アメリカ人はバリの街上で唾を吐かれ、石を投げられイギリスにおいては至る處で公衆の輕侮を受けた。

三十九年以前アメリカが無報酬で、スペインの惡政から救つてやつたキューバは、アメリカを何う思つてゐるか。それは最近キューバにゐたアメリカ人に尋ねれば判る。

これは支那でも同様である。支那の政治家はアメリカから、借款を得ようとして、幾月も奔走した揚句、借款に成功し、金を掴めば忽ちに態度を變へ、あれはアメリカが財政的に支那を把握しようとする策謀の證左であるなどと言ふ。支那がアメリカから借りた金は屢々、支那における反米思想を養成せしめる結果となつた。過去においてアメリカの支那救濟事業から、何等の親米的態度を齎らさなかつたことは、アメリカの歐洲救濟と同様である。

十九世紀の終り頃、吾人は支那のため學校その他の事業に、數百萬ドルを投じたが、吾人が善意を以て行つたことに對し支那の官吏から、何等の感謝を受けなかつた。一九〇〇年の恐ろしい排外的殺戮行爲の起つた時に、吾人が以前に援助したその同じ支那政府はその軍隊に命じて團匪に加はらしめ、外人殺戮を行はしめた。そして他の外人と同様アメリカ人の首にも懸賞を附した。

#### 六、中立を守れ

それにも懲りず吾人は、その後引續き支那に學校や、病院を造り、五千萬ドルを費やし、また此等の學校、病院の維持費として毎年數百萬ドルを送金してゐる。これで支那の親しみを得たであらうか。少數の支那人は或は親米主義者となつ

たであらう。然し最も多くの支那官吏はさうではない。支那現在の支配者たる國民黨が、一九二七年に政權を得るや、彼等はアメリカ人その他の外人征伐を主唱せる共產黨と手を握つた。蒋介石の率ゆる國民黨の軍隊が打倒洋鬼の旗を翻へすや十年以前と同様にアメリカ人は殺された。國民黨の軍隊に包圍されたアメリカの臣民を救助するためにアメリカの軍艦は南京を砲撃するの已むなきに至つた。然しアメリカは支那に宣戰をしなかつた。

當時支那は英米兩國に對抗して、共產主義國を味方にしてゐたのである。今日その同じ支那政府が、同じ獨裁政治家を戴き、再び共產主義國と同盟して、アメリカを味方になし日本と戰はしめようとしてゐるのである。

何故に吾人は支那の、またソ聯の若しくは兩國の政治團體の道具とならなければならぬのであるか。此等の國々は吾人が額に汗して儲けた金や、我が青年の生命に對し如何なる權利を有してゐるのであるか。アメリカのドルや青年は、アメリカ自らがこれを必要とするのである。然るに他國民がこれが必要とし、これを得んと試みてゐる。されど今度といふ今度は吾人は、斷乎としてこれを拒絶しなければならぬ。吾人は苦い體驗を持つた。これを拒絶したればとて毫も平和を威嚇するものではない。吾人の探るべき道は、中立を適用するにある。日支事變に際しいつれへか加擔しなければならぬ。とすれば、吾人の加擔すべき國はアメリカ自身であつて、他のいつれの國でもない。

## ○歐洲各國空軍の現勢力

(國際バンフレット通信)

### 一、歐洲列強空軍の特徴

歐洲各國は空中制覇を目指し、今や競つて空軍の整備に努力しつゝある。歐洲大都市の大部分は地理的に言つて空襲を受け易い位置にあり、空を見上げる人々の眼は恐怖に憑かれて居る。飛行機に對する恐怖は切實であり又當然である。蓋し飛行機が都會の生活を破壊するといふよりも、長期に亘る大戦争に於て、飛行機は他の戦争手段と相俟つて、今日われ

く見る歐洲文明を永久に破壊してしまふだらうからだ。

七二

今日歐洲各國の軍用飛行機の數は恐らく二萬臺以上あらう。そしてその發動機の爆音は日常生活の一部分となつて居るのである。英國ではプリストル工場、ホーカー工場、ロールスロイス工場、フランスではプロツシユ工場とルノー工場、ドイツではエンカー工場、ドルニエ工場、イタリアではファイアット工場、カプローニ工場、ポーランドではP・Z・L工場、チエコスロヴァキアではレトフ工場、ソヴェト聯邦では各地の國營工場で、明日の戦争のために旋盤は回轉し、機械工は空中艦隊の設計に忙殺されて居る。正に飛行機の製造には平時に於ける最大能力が發揮されて居り、飛行機の歴史始つて以來の壯觀である。——然も各國空軍に於ける犠牲飛行機の數は、日一日と多きを加へて居るのを忘れてはならない。

歐洲各國の意圖する飛行機の使用法は區々で、一定して居るといふわけではない。各國陸軍省の主要關心事は飛行機を陸上の戦線に使用し乃至は海上の艦隊と共に用ふるといふことではない。彼等の所期する所は飛行機によつて戦争の舞臺を全國的に擴大し、都市と人民をも戦争の禍中に投ぜしめんとするにある。

イタリアは、故ドウェット將軍の原則を遵守して、空軍は（少くとも理論上）地上機械化部隊の援助を受けて、敵國の都市及び工業中心地を不意討ちし、大量殺戮を行ふことによつて勝利を確保出来るものと信じ、従つて爆撃機の航續力と爆撃力を増強することに専念して來た。フランス空軍も遠距離爆撃の有効なることを確信して居るが、フランス國防の第一線は陸軍であり、従つて將來の戦争に於て、フランスの空軍は恐らく大體補助的な役割を演ずるに止どまらう。

ソヴェト聯邦でも、フランスと同様、陸軍が國防の第一線として重視されて居るらしい（勿論戦争の場合獨立に空軍が敵の空爆に使用されようが）。ソヴェトに於ける最近の陸戦規則によれば、「戦鬪の結果を左右するものは砲兵隊並びに戦車隊と緊密に協力する歩兵である」とある。ドイツでは、空軍は補助的手段たると同時に獨立の武器として使用されるに違ひない。このことは空相ゲーリング將軍の個人的力倆と、その政治的權力に一部分基くものである。

英では、將來戦に於ける飛行機の正確な役割如何は永い間議論の對象であつたし、現在でも尙屢、激しい議論を海軍

當局と陸軍當局の間に惹起して居る。然し英國は飛行機を他の手段と協力して用ふると共に、それ自體獨立した武器として用ふることは確實であらう。さし當つて英國は飛行機を以てロンドン空襲に對する防禦手段として考へて居る。ロンドンの空襲は人々の畏怖する所であり、何人もその防ぎ様を知らないからだ。

## 二、大都市空爆の効果

若干の専門家の見解によれば、大都市に對する空爆は——適當な時機に連續的に假借なく遂行されるならば——國民の士氣を挫き、政治の機能を破壊することによつて、一國をして能く屈服せしむることが出来るといふ。最近のマドリッドや上海や天津の教訓は未だこの見解を裏書するに足らないが、世界大戦當時の空襲の際の、ロンドン市外人居住地區に起つた恐怖と騒動を記憶して居る者にとつては、この見解はあり得べきこととして受け取られよう。

否この見解は、大陸の圏内に所狭しと生存を續ける歐洲各國——その國境は最新式の飛行機を以てすれば文字通り一足飛びだ——にとつては切實なる危険であるが故に、各國は些かも警戒を怠らず積極的、消極的實施し得べき一切の防空手段を考案して居るのである。歐洲は都市に對する飛行機の脅威が如何に切實なものであるかをよく知つて居る。そして最近の支那及びスペインに於ける戦争は之をよく證明して居る。以下歐洲に於ける主な國々の空軍整備狀況を記して見よう。

## 三、ソ聯空軍の長所短所

空中制覇の競争に於て、今日のソヴェト聯邦はトップを切つて居るといつてよい。質の點でトップでなくても少くとも數の上に於て首位にある。

シベリアの凍原地帯及びポーランド國境の沼澤地方一帯に亘つて、第一線の飛行機（戦争が開始するや直ちに飛び出し得る態勢をとつて居る新式舊式の飛行機）は、凡そ二千五百臺乃至三千五百臺と言はれるが、大體に於て三千臺足らずと見るのが正しからう。この他ソヴェトには、千五百臺乃至二千臺の飛行機（練習機及び若干の豫備機）があり、上と合せ

て約四千五百臺、ソヴェト聯邦は世界第一の空中艦隊を所有して居るのである。

ソヴェトの航空人員は凡そ五萬名を算へ、この中操縦士は七千名乃至八千名あり、専門家の言によれば、この陣容は「極めて有能且つ組織の優れたもの」である。ソヴェトの飛行機は最近スペインに於て、種々の實驗を示したが、然しその大部分の飛行機は老朽のもので裝備がよかつたといふに過ぎない。ソヴェトで最近出来た飛行機は、米國製のものそのまゝの模倣で、發動機も米國製乃至フランス製のものを取り附けて居るから相當優秀であるが、この種の飛行機は戦闘機爆撃機の双方を含めて四百臺乃至五百臺を出まい。

飛行機製造にかけてはロシア人は模倣能力が非常に優秀であることを示した。これに外國の設計家、外國の技師、外國の金屬工、更に外國の機械工の援助と多額の經費と人力（ソヴェトの勞働は安價だ）が加つて、今日の空中艦隊が出現したのであり、漸次質的に優れたものとなりつゝある。ソヴェトでは米國式及びフランス式の發動機及び米國式の飛行機（従前はドイツ式の）が特許その他の契約によつて製作されて來たのである。ソヴェト航空界が今日他國に比して成功を勝ち得たことは、外國の援助に負ふものであることは明白である。

然し乍ら右のことは、ソヴェトが今日成就した業績を些かも損するものではない。ソヴェトの飛行機製作率は、嘗て零であつたのが今日では歐洲第一となり、各種の新記録を樹立する操縦士を養成した。ソヴェトの操縦士は耐久力に富み、且つ優秀な手腕を持ち、最近スペイン戦争では闘争心を獲得した。「オソアヴィアヒム」（航空化學協會）は一九三六年度に於て、既に九千名の操縦士を養成した。グライダー操縦やパラシュート降下は、今ではソヴェト全國で行はれる普通のスポーツである。一方試験をパスして、防空化學陣に出動する資格を獲得した者の數は、五百萬人以上に達して居り、ソヴェト國民の飛行機に對する關心といふか「航空熱」は殆んど他のいづこの國民も追従を許さない有様である。

然しソヴェトの空軍計畫は、未だその緒に就いた許りなのである。政府の目標は十五萬人の操縦士と毎年二萬臺の飛行機の製作と先年墜落したマキシム・ゴルキイ型の巨大航空船數十臺を建造するにある。これらの計畫は目下の所は未だ明

日の夢に過ぎない。然しソヴェトの空軍は、その相対的地位を維持するに相當努力せねばならないとしても、今後益々増強されるものと思はれる。ソヴェトの弱點は明瞭である。國民は未だ機械時代に馴れて居ないし、その熟練工の數は少ない。飛行機製作工業部面の労働者の數は、他のいつれの國よりも多いけれども、職工一人當りの生産率は、恐らく他の國の職工よりもずつと低いこと、思はれる。然も目下の所ソヴェトの設計家は眞に最高級の發動機(M・3・4型は唯一の例外だが)を設計するに至つて居ない。加之、外國の模倣でない飛行機が設計されるとしても、そのデザインは世界の一流機に未だ到底及ばないといふ現状である。

ソヴェトが自力で外國から助けを借りることなしに質的に世界第一流の飛行機を製作する迄には尙相當の時日を必要としよう。然しそれにも拘らずソヴェトは今日世界一流の空軍國であり、將來に於ても然るであらう。

#### 四、イタリーの空軍第一主義

イタリー空軍は、長距離編隊飛行(就中イタロ・バルボ將軍を隊長とする大西洋横斷飛行)各種の記録飛行、更に最近にはエチオピア遠征飛行と地中海に於ける英國海軍制壓によつて名聲赫々たるものがある。數の上で言へば、イタリーは第一線の空軍二千二百五十臺と練習機その他の豫備機を千二百臺乃至千七百臺を有して居るから、恐らくソヴェト聯邦の次に位するであらう。然し質の上から言へば、イタリーは數年前に保持した第一位は、今日もはや有して居ないのである。イタリーには今日迄の所、完全に満足な空冷式發動機は出來て居ない。然しギドニアその他に於て研究は着々積まれて居るからして、この方面の困難を征服して完全な飛行機を完成する日は餘り遠くないこと、思はれる。

イタリー人の長所は、同時に彼等の弱點でもある。イタリー人は大體に於て個性の強い國民である。イタリー人一人々々について言へば、空中に於て各種の業績をのこした者は少なからず、その勇猛果敢な行動と相俟つて、イタリー人は空中に於ける月桂冠と名聲とをかち得た。然し、バルボ將軍の集團飛行を除いてこの飛行は優れた組織的才能を示したものであるが——今迄の所、彼等は空中に於てこれと言つて目立つやうな集團的共同的な技倆を示して居ないのである。

エチオピア戦争を開始したイタリア空軍の一小部隊は、團體的といふよりも、個人的な飛行士の集合したものであり、従つて最初は彼等相互の間乃至地上部隊と協力するといふやうな才能は殆んど示さなかつた。然し彼等は、やがて戦闘の必要に迫られたのと、遠征軍總司令バドリオ元帥の指揮指導よろしきを得たために、戦争の終つた時はよく調整された優秀な飛行隊となつて居た。

エチオピア戦争でイタリア空軍の他の一つの弱點が曝露された。これは適當な訓練の不足と飛行時間が充分でないといふことであつた。従來イタリアは飛行機用ガソリンの大部分を外國から輸入せねばならず、この點特にハンディキャップであり、従つて操縦士一人當りの平均飛行時間は、一年に僅か七十時間位のものであると言はれる。この點から見てもイタリア空軍に訓練の充分でない操縦士が多數居ることは不思議ではない。

飛行機製作工業部門の方から言つても、イタリアに原料が不足して居ることは戦時に飛行機を全速力で製作して行かねばならぬことを考へて重大なハンディキャップである。尤も現在に於ては飛行機生産率は一ヶ月二百臺餘と推算されるから、この點からは歐洲いつれの國とも比肩し得るわけである。地理的に言へばイタリアの空中地位は有利である（イタリア飛行機製作工業の大部分が北部ポー河流域に集中して居ることは多少不利だが）。イタリアはこの有利な地位を充分利用し、全國及び地中海、紅海の諸領土に今や空軍基地を建設しつゝある。

##### 五、ドイツ空軍の驚異的進展

ドイツの針葉樹森の奥深く、空襲に對して周到に迷彩を施された無數の格納庫にはドイツ第三帝國の飛行機が收容されて居る。

ドイツ空軍の特色は、最近驚くべき生長を遂げたこと、それが秘密の中に覆ひ隠されて居るといふことである。數年前ドイツには空軍は存在しなかつた。然し、今日ドイツ空軍は全歐洲の恐怖の的となつて居る。かゝるドイツ空軍の生長と地中海に於けるイタリア空軍の活動こそ、今日ロンドンが空襲を恐怖する直接の原因である。

ドイツ空軍の實力を正確に知つて居る外國人はなく、ドイツ人ですら之を知る者は殆んどない。然し第一線の空軍が千七百五十臺乃至二千三百臺存在することは殆んど確實である。二千百臺邊りと見るのが最も正しい推算であらう。ドイツは設備萬全なる近代的工場を有して居り、必要な原料さへ確保されるならば、歐洲いづれの國とも、否、いづれの國よりも早い速度で、飛行機を製作し得る地位にある。然し今日の所ドイツは恐らく毎月二百臺乃至三百臺以上は製作して居まい。ドイツ航空機工業の技術的困難は、或る點に於てイタリーのそれと並行して居るのである。研究は頻りに積まれて居るが、最高級の發動機を製作する時間的餘裕がなかつた。之に對する唯一の例外は「ユンカース・ユメール」重油發動機である。

ドイツ空軍の編成は、實に無比なるものがある。陸軍の一部に止るソヴェトの空軍とは異り、ドイツ空軍はそれ自體獨立した空軍省を持つて居る。國民の防空施設も亦空軍省の管轄に屬して居る。

一時ドイツでは空軍の急速な擴張のため、操縦士が不足を告げた時代があつたけれども、このハンディキャップは今や漸次克服されつゝある。尤もこの過程には、相當の人命の犠牲が拂はれては居るが。今日のドイツ空軍は、最初少數の陸海軍將校が中心となつて創始したもので、彼等の多數は殆んど飛行機操縦の経験のない者ばかりであつたが、巨額の費用が投ぜられたこと、チュートン民族特有の徹底的精神によつて、空軍は飛躍的に成長したのであり、その成長振りは大戰後の歐洲の顯著な軍事的現象の一であつた。然しかゝる迅速な擴張振りと之に必然的に伴ふ速成的訓練を思ふ時、既にドイツが果してよく調整された空中艦隊を完成し得たりや否やは疑はしいとせねばならぬ。

#### 六、低下したフランス空軍實力

現在の歐洲各國の空中制覇戦が開始される迄は、フランスは歐洲隨一の空軍國たるを誇つた。然し今日ではフランスは第一線空軍（本國及び植民地にあるもの及び海軍機を含めて）總計僅かに二千臺を有するに過ぎず、之にその他の千臺（練習機その他豫備機）を加へて、その實力は漸く三千臺といふ有様であり、臺數に於てはその他の列國に抜かれてしま

つたのである。フランスとても飛行機建造戦には、勿論参加して居るのだが、それでも現有飛行機の約三分の二は老朽機であり、フランス空軍が實力を増強せんとすれば、先づこれらの老朽機を代替せねばならない。

然も一方國內の經濟的、政治的不安は、飛行機製作工場國有化の問題と相俟つて、フランス空界の困難を加重し、一九三六年七月から今年の三月迄の不安定期の間は、飛行機製作率は殆んどゼロにまで低下を來したのである。今日では増強されて居ることは言ふ迄もないけれども、戦時に於ける重要産業の危険地帯集中を避けるために、製作工場が、パリからフランス各地に移されつゝあること、フランス労働者現在の氣分を以てしては、その製作率が、こゝ暫らくの間果してその他の一流製作國と對抗し得るや疑問なきを得ない。

技術的に言へば、最近の製作に成るフランス飛行機は、驚く程優れた飛行機は示して居ないとは言へ、性能の優秀な有用な最新型である。フランス製「グノーム・ローヌ」その他の發動機は非常に優れたものであり、フランス人設計家は進歩的であり機敏である。操縦士も不足して居らず、現役にある者はいづれも熟練家で且つ果敢である。

#### 七、空軍再建に奮進する英國

技術的に見ると英國の飛行機は歐洲に於て最も優れたものである。この國には時速三百四十六哩も出し得る「スーパーマリン・スピットファイア」機、時速三百哩近くを出す萬能的な「プリストル・ブレンハイム」中型爆撃機等があり、英國に於ける最新式飛行機は歐洲いづれの國で製作された乃至製作されつゝある飛行機よりも一頭地を抜いて居ることは明白であらう。之に對する例外は唯一つソヴェト聯邦が最近製作した米國型の飛行機であらう。

嘗て英國の有した最大の困難は、その製作に存した。然し今日ではその最も困難な問題の多くは萬難を排して解決され、現在では毎月約百六十五臺の機體を建造しつゝあるのみならず、この製作率は漸次増加の一途にある。空軍再軍備については英國は全く眞剣である。その豫備機の數は、現在將來共にいづれの國よりも多かるべく、最近の第一線の實力は（本國及び植民地にあるものと海軍機を含めて）大體二千臺に過ぎず豫備機その他を合計して、漸く三千臺といふ所だ

が、その整備振りは目下非常に急速なるものがあるから、やがて英國空軍が數の上に於て、歐洲第一となつたとしても驚くに當らないであらう。

英國は操縦士に不足はして居ない。不足して居るのは熟練した機械工である。ドイツと同様、英國空軍の擴張率は如上の如く極めて迅速なために既に多數の人命を犠牲に供して來た。新飛行隊が絶えず増加されつゝある事實に鑑みて來るべき一年の間には英國空軍(R.A.F.)は最近ロンドンの或る有名な専門家が指摘した如く「同質一體的な空軍といふよりも寧ろ單なる部隊の集合體」となるのではないかと考へられる。

#### 八、其他の諸國について

以上ソ聯、獨、伊、佛、英各國を除いてその他の歐洲諸國の空軍は、之を一つに纏めて考へると、歐洲軍備の中の一つの恐るべき單位とはなるが、之を個別的に見るといづれの國も以上列國の大空軍に比肩し得るやうな實力を持つて居ない。チェコスロヴァキア、ポーランド及びユーゴスラヴィアの三國がその中でも、最も強力な空軍を持つ國々であらう。ポーランドの空軍は速力の早い各種の技能を示し得る飛行機を持つので有名である。これらの優秀機は首都ワルソー附近の工場で作られて居るが、第一線の飛行機は未だ約四百臺に過ぎない。チェコスロヴァキアは五百五十臺、ユーゴスラヴィアは四百五十臺と稱して居る。

然し空軍の實力といふものは、飛行機、その製作工場、及び操縦士以上のものを包含する。即ち根據地乃至飛行場が英國空軍の重要構成要素である。歐洲大陸の中に押し込められて居る諸國は互ひに國境を接して居るが故に、國內殆んどいづれの部分も國境方面からの空襲を受け易く、従つて空軍を少數の飛行場に集結する代りに國內多數の飛行場に分散せしめて居る。この點は米國と大いに趣きを異にする所である。

飛行場それ自體のコンディション、その設備、多數の豫備飛行機の收容、手入れの能力、排水施設等々は防空の重要事項である。一般的に言つて歐洲の飛行場で滑走路を特に設けて居るものは殆んどない。それに多くの飛行場は、排水施設

が充分でない。これは就中チエコスロヴァキアとポーランドの飛行場について然りであり、この兩國程ではないが、多数の國の飛行場についても言へることである。これらの飛行場の中には——毎年或る季節には——使用に堪へないものが若干ある。

然し乍ら、その飛行機の明らかな制限と當然なハンディキャップにも拘らず、歐洲の空軍が都市生活の美と安全に對する脅威であることは疑ひがない。そして人類が建設した進化の偉大なる記念碑——ロンドン、パリ、ローマ、ベルリンが次の戰爭に於ては、人類が空を征服するために作つた手段——飛行機——の犠牲となつて、その建造物は粉碎され形骸化してしまふに違ひない。

### ○世界を獨裁する猶太財閥の瞥見 (大亞細亞)

(前略) 私は約七、八年前から特に猶太人の動向に注目しまして過去七、八年間巴里で、ずつとその動向竝に實力、組織、さういつた方面を深く出来るだけのことを調べて参りました。所が實にどうも驚く可きことばかりで始めの中は恰で狐につまゝれたやうな形で一向何が何だか分らなかつたのです。猶太人といふものがそんなに大きな恐い實力と組織をもつてゐるかどうか甚だ疑問に堪へなかつたのでありますが、段々調べれば調べる程それは白晝公然と行はれて居る大きな祕密なんです。餘りに堂々と行はれてゐるので一般人の目につかないといふ程のもんです。

先程お話を伺つて居ると、近く反英國國民大會を開かれまして英國を撃滅しろ、やつつけろといふ叫びを大阪中央公會堂でお上げになるといふこともあつたやうであります。實はこの英國なるものが實は猶太人の國なんです。さういふことが日本に居りましては分らないのですが、あちらに居りまして長らく苦勞を致しまして、私は少し違つたやり方をやりまして、あちらでお金を儲けてあちらで生活するといふ法式をとつて居つたものですから色々あちらの事業家にぶつかりま

して、色々な人物に接しました。尤も私の事業といふのはあちらで東洋精神、日本精神を紹介する著述と、その出版なんです。その著述の方面と、その著述の一部分に東洋哲學、東洋醫學（漢方、食養）がある關係から段々醫學方面にも知己が澤山ありまして、さういつた關係から向ふの大實業家の病氣の指導食物の指導をやることがあります。その中でも殊に最も有力な人はランテリツク香水會社、佛國スタンダードオイル會社々長の如き人があります。色々大きな事業や政治界財界の内幕を聞いて見ますと、さうするとそこにも又猶太人が恐い大きな網を張つて居ることが分りまして次第に興味を以て色々調べて參つたのです。（中略）

只今全世界を獨裁して居るものは經濟力だと思ふ。物質の力、金錢の力、黄金の力、これが只今世界を動かして居るモーターだらうと思ふ。所がこの經濟力、物質力、黄金力の實權を握つて居るのが世界に三つの大きな財閥となつて現はれて居ります。その一つは英國のイングランド・バンクを中心にした英國財閥であります。一つはバンゲ・オヴ・フランスを中心としたフランス財閥、もう一つはアメリカのニューヨークのクーンロープを根據とするアメリカ財閥。この三財閥、この三つが世界の（日本を除く）有ゆる銀行といふ銀行でこの網の端に引つ掛つて居ないものはないといつてもよい程勢力を張つて居る財閥であつて、正に世界を獨裁する猶太黄金王朝の觀があります。その中でも一番大きいのはクーン・ロープです。これは我日本にも大變深い關係がありますから、よく記憶を願ひます。

これは大きな實力を持つて居ります。その三代目の總裁が猶太人ジャコブ・シフといふ者でその女婿の猶太人ボール・ワルプールが只今五代目の總裁をして居る。それからイギリスの方の財閥の巨頭であります。事實上大英帝國の大藏省であるバンク・オヴ・イングランド（英蘭銀行）の總裁は猶太人モンタギュー・ノルマンでこれは『不思議な猶太人』で歐洲では『オナムミステリユー』『L'homme Mystérieux（不可思議な人）』といふ名でよばれて居る。彼は本年十七回目の總裁に當選して居る。年期を一回三年としても五十一年にもなる。まるで自分の銀行のやうに英蘭銀行に君臨して居る。しかもこの猶太人は見た人がない、寫眞すら見た人がない。如何なる新聞記者と雖も如何なるロイテル電報と雖も、ノー

スクリツフ系の新聞と雖もモンタギュー・ノルマンの寫眞を出したことがない、見たものもない、而もこのモンタギュー・ノルマンは『旅券を持つてゐない人』です。旅券は不要なのです。國王扱ひです。そして朝はロンドンに居るかと思へば夕方には巴里に居る、又明日はロンドンに歸つて居るといふ奇々怪々の存在です。これに逢はふと思ふと誰が行つても逢へない、英國人でさへも滅多に逢ふた人がない。(中略)

實に不思議な人物であります、これが只今英國の皇室を始め有ゆる重工業の財閥一切を手中に握つて居る。このモンタギュー・ノルマンの手元に於きまして一切の英國の動向が決定される。英國皇帝は御承知の如く「君臨すれども、統治せず」といふ立派な言葉がある如くに實は實力は持つて居りませぬ、王國でありますけれども、これ位デモクラシーの國はないといはれて居る。これは猶太人ノルマンが事實上は英國國王であります。さういふやうなことを申しますると非常に不思議なやうに聞えますけれども、何と云つても平たく申せば金の世の中です。モンタギュー・ノルマンがイン格蘭ド・バンクの總裁につけて前後十七回、五十何年も當選して居る事實、この銀行が英國の大藏省、否世界の大藏省でありますからよほど我々は考へねばならない。日本銀行の總裁と雖もさういふのはないと思ひますが、而もその人の寫眞を見た人もなければ逢つた人もない、新聞もモンタギュー・ノルマンに對しては何もいふことが出来ない。といふのは日本の新聞が高貴の方々のことを書くことが出来ないやうに英國ではこれが不文律になつて居るからなのです。これは書かれないです、日本人は殆どそれを知りませぬ、英國の皇帝の御即位式とか或は戴冠式といふやうなものは大袈裟に出ますけれども、このノルマンが第十七回の總裁に當選したといふやうなことは新聞に一行か二行しか出てないです。實に面白いです、それは何故かといふとデーリーメールにしても、ロンドン・タイムスにしても英國の新聞は總てロイテルといふ猶太人男爵がノース・クリツフと猶太人に屬してゐる。それでモンタギュー・ノルマン氏のことは一切秘密にして居ります。それで出すことが出来ない、それでさういふ者がさういふ風にモンタギュー・ノルマンの輩下が總てのことをやつて居りますが、元來、デモクラシーが發達するとどうしても金力のあるものが政治家となる。それから金力のある者財力のある

1857

者でなければ政治家になれないといふ組織になつて居ります。これは代議制度、衆議制度の一大缺陷だと思ひますが、この代議制度を發明したのが猶太人でこの猶太人の手でこれが完全に運行されて居る。従つて政治家になり或は國家を支配し、制度を支配するといふ地位につく爲にはどうしても金權がなければならぬ、それを援助するのは猶太財閥で、同じ援助するならば同族の猶太人でなければ援助しないといふことになつて居ります。その結果、ダビッド・チェンバレンやネビル・チェンバレン、マグドナルド、サイモン、ヘンダーソンなどいふ猶太人が大政治家になる。古くはデスレリ一等有名な者は總て、偉大な政治家は英國では猶太人でなければいかんといふことになつて居る。それから困つたことには、總ての軍需工業は全部猶太人が持つて居る、例へばヴィツカース・アームストロング（昔は日本も此處から軍艦を入れたもので）その外にも澤山ありますがさういつた軍需工業、殊に英國最大の毒ガス爆薬工場インビリヤル・ケミカル・インダストリーは總て猶太人のものである。それからもう一つ困るのですが有ゆる通信機關が全部彼等の手に入つて居る、一番大きなのはノース・クリップ系統で殆どあらゆる新聞はこれに屬して居ります。それからロイテル電報通信社なども皆猶太系統で、その次に面白いのは娛樂機關例へばゴース・ブリチッシュ・フィルム等が總て猶太人の手に入つて居る。彼等は賢いモットーを持つて居る、世界を獨裁せんとするには言論通信機關、スポーツ娛樂機關を先づ獲得せよ、次いで教育機關といふやうなことになつて居る。全世界のシネマ、スポーツ、新聞、通信網は彼等の手に入つてゐます。英佛海峡を一つ隔つた佛蘭西でもこれと同じことが行はれて居ります。先づ只今の副總理大臣、前の總理大臣のレオン・ブルームこれが猶太人であります。フランス人ではありません。レオン・ブルームこれは共產黨の一方の旗頭であります。第三インターナショナルの旗頭になつて居るカシヤンは貴族議員で、これが第三インターナショナルの佛國部首領になつて居ります。これは二人とも共產黨員となつて居りますけれども二人とも猶太人で、驚くべきことはこのレオン・ブルームの如きは共產黨の親方でありながら千萬長者であるのですから實に面白いです。フランスに於ける一番有名な食器がレオン・ブルーム家にある。これは數十人前のそろつた食器で勿論皿から、コーヒー碗、スプーン、ナイフ、果物皿に至

る迄全部黄金で出来て居る。その価格は七百萬フランといはれて居ります。これは恐らく世界第一の高價な食器でせう。それを持つて居るのが猶太人、共産黨員レオン・ブルームです。これが巧みに共産黨を操りまして、實に巧みに（從來、共産黨からは一回も一人も代議士を出さず）自分も一回も代議士などに出ないで、何もしないで居つて昨年突如として總理大臣になつた、實に巧妙なものです。我黨からは一切政黨政治家は出さんといふモットーでやつて居りましたが、どこをどう切り廻つたものか我々門外漢には分らぬが突如として總理大臣になつて共産黨赤色國家を一夜の中に作り上げてしまつた、銃器などふり廻したりするクーデターと違つてあざやかなものである。佛蘭西に於ける大統領の地位は米國の大統領とは餘程意味が違ひまして殆んど隱居役で何もしないものです。唯シヤンパンを飲んでお祭りの席に出て、除幕式の繩をひいたりするのが役目で、政治は全部總理大臣がやることになつて居ります。彼は今でも總理大臣を辭めて副總理大臣になりまして相變らず絲を引つ張つて佛蘭西の内閣政府を操つて居りますが、この政黨の中に、澤山の猶太人が入つて居ります。まあ猶太人の天國は只今佛蘭西といつて良いだらう。民衆に取入ることが實にうまいです。最近佛蘭西は四十時間制を採用しまして一週に二回休み、土曜日と日曜日は休み、總ての勞働をしてはならぬといふことになつて居りますからカフェーのボーイ達も日曜と土曜は働くことが出来ない、それが爲に國力がどんなに削がれて居るか分りませぬが、さういふことで民衆大衆、勞働者を籠絡し、さうして物價は釣上げる。ですから働く人から見ると一週四十時間しか働けない、収入は減ります而も物價は騰つて居る、ありがたいのやら、ありがたくないのやら分らぬといふ譯です。實に巧妙なやり方をやつて居ります。その他佛蘭西の一番大切な心臓である所の佛蘭西銀行は從來ロスチャイルド家、ド・ヴンデル家その他十三人の財閥で支配されて居る。これが先祖代々變らない大株主なんです。一切民衆はどうすることも出来ないやうにしてあります。而も、ド・ヴンデル、シユナイデル、ロスチャイルド家これは日本の三井、三菱の何十倍といふやうな財閥で素晴らしい巨億の富を持つてゐる。これが、今度は最近完全に猶太財閥のものとなりました。その別働隊として（英國に於けると同じやうに）佛蘭西の言論や通信の機關、即ち本當の國民文部省ともいふべき新聞雜誌及び出版物

の大元締がアウスといふので、日本の同盟通信社などの中の聯盟の一員となつて居りますが、これはオラース・フィナリといふ猶太人によつて支配されて居ります。

こんな風に新聞言論機關の一切を猶太人の手に收めて居る、かくて銀行も全部猶太人の手にある。政府は申す迄もなく完全に猶太人の手中にある。私が少し大膽に豫言致しますと今から恐らく十年を出でずして、佛蘭西は第二のスペインのやうになりませう。國家としての形式は残つて居りますけれども政府といつても殆ど猶太黄金王朝の専制見たやうな制度ですから、これが何年続くか見物だと思ひます。それから學術界に於ても猶太人といふ妙な偉い奴が多い例へば、この間まで日佛會館の會長をして居りましたシルバン・レヴィイといふ猶太人、佛國哲學協會々長レヴィイ・ブリユール、世界的に有名な哲學者ベルグソン等そんな人が澤山あります。猶太人の勢力が如何に佛蘭西で行互つて居るかといふ一例を申しますと、恐らくそんな馬鹿な事はあるまいと思ひますが、彼の歐洲大戰五ヶ年間、獨逸には鐵砲彈がなかつたんです、鐵といふのは兎に角貧乏しかなく、澤山出來ない、それで國境にある所のドブリーといふフランスの鐵鑛山から鐵を採るやうにした。猶太人の計略なんです。その鐵鑛はド・ワンデルといふ一族が持つて居るが、これが巧みな戰術を應用致しましてその地を放棄せしめて、その儘そつくり熨斗をつけてさうして獨逸に提供してしまつた。何故かといふと敵のガイゼルの當時の財政顧問であつたフォン・ワンデルは佛蘭西のド・ワンデルの從兄弟に當る、そつといふ關係で、實はド・ワンデルは國籍を二つもつて居つた。一步獨逸に入るとフォン・ワンデル、佛蘭西に入るとド・ワンデルと名前を使い別けて居つた男でこれが戰爭中佛蘭西銀行を中心として如何に悪事を働いたかといふことは千萬言を費してもいひ盡せませぬが、この鐵鑛を先づ獨逸に提供して、さうして商賣をした。それから獨逸の困つたのはニツケルと鉛です。元來歐洲に於ては非常に貧弱で歐洲全體にニツケルはありませぬので、ニツケルはニューカレドニヤやカナダから海運により輸入して居る。ニツケルと鉛がないと大砲の彈が出來ませぬ。

それから鉛山といふのは全歐洲に於てスペインより外にない。一番大きいのはスペインのペナロイヤといふ山であります。

すが、この鉛山とニッケル鑛山が猶太人ロスチャイルド家一族の所有であつて、歐洲大戰中もこのニッケルと鉛が外國から入つて來なければ獨逸は彈を撃つことが出來なかつた。所が五年間完全に入つて來たのはどうして入つたかといふと猶太人ロスチャイルド家の組織下のド・ワンデルの手を経てどんくく入つて來た、實に面白いです。ニッケルがニューカレドニアから入つて來る時は英佛海峡を通る、その時にノルウエーの旗を上げて通る、さうすると佛蘭西の艦隊が行つて逮捕する、ニッケルを積んで居るから敵國に行くものとして拿捕して海軍省に知らして寄越すと海軍省から間髪を入れずに「その船を釋放しろ」といふ電報がすぐ來る。その儘その船は續航して獨逸に入つてしまふ、これが毎週のやうにあつた。それは何故かといへばパリには猶太財閥ロスチャイルド一家があつてその下にド・ワンデルといふやうな財閥一派が居つて政府を握つて居るものですから、海軍省なんか何んでもなく自由自在になる。

一方スペインの山から鉛を出して居るが、これはスキスを通つて國境を越へまして獨逸に入る。それで完全に大きな商賣が行はれて居つた。彼等猶太財閥はフランスに國籍を有しつゝ、かくて五ヶ年の間敵國に大砲と彈丸の材料たる鉛とニッケルを提供して來たのです。實に驚くべきことをしたものです。これが大戰後暴露して一九二七年に分り、議會の大問題になりました。私達はどうかと思つて固唾を飲んで見て居つた所が何時の間にか揉消されて跡かたもなくなつてしまひました。それ程佛蘭西に於ては猶太人の勢力は行互つて居ります。殊に面白いのは猶太人の祕密結社の一つである所のフリーメーソン（フランマソン）結社が非常に行互つて居る。官吏は殆ど全部このフリーメーソンに入つて居る。これに入る人は猶太人でなくてもよいのですが、それを牛耳る者は猶太人である。だからそのマークは三角を上下に二つに組んだ猶太人のマークになつて居りますが、これが猶太人のマークで官吏のポケットの中に、殆ど全部の官吏のポケットの中にはこれが入つて居るといはれて居る。それ位實に凄い勢でこれは大分日本にも入つて居ります。このマークの附いて居る家は全部猶太人の家で、どこか、門標かどこかにそれが附いて居る。驚くべきは會館や大ビルの社交室でこれのついて居る處がある。まあこれから神戸、大阪邊りの猶太人の商館、全部の猶太人はこのフリーメーソンに入つて居る。この祕

密結社の團員は握手をする時小指で合圖をする、それですぐ分る。秘密暗號であります。この結社には第一級から第三十三級迄ある、それが第一級の人は第二級はどういふものかどうして居るかといふやうなことはちつとも分らない、第二級の人は第一級のことは知つて居るが、その上の第三級のことはちつとも分らないといふ組織になつて居るのです。大臣級になると大抵二十級以上の人で佛蘭西の總理大臣シヨータンや副總理大臣レオン・ブルーム、こゝらになると非常に働きのあつたものですから第三十三級に入つて居る。これらに屬する人達は毎月一回宛世界のどこかに集つて相談をする。そして世界中の爲替相場も、各國の政策も、國際聯盟の仕事もみなこゝらから最高指令をうける。どこでやられるかそれは誰も知りませぬ。

佛蘭西の話はそれ位にして米國に飛びますと、ジャコブ・シフこれも猛烈な怪人です、日本も少からずこの人の御厄介になつて居ります。例へば日露戦争に於て日本が勝つことが出来たのはこのクインロープ・エンド・カンパニーのジャコブ・シフのお蔭もあります、と云ふのは日本には當時お金が足りなくて困つてゐた。高橋是清氏が借り廻つても誰も貸してくれないので困つた。その時、ジャコブ・シフがこれは面白い一つ援けてやります、といふので十五億圓出して呉れた。そのお蔭で實は數ヶ月で濟むやうな處を十數ヶ月もやつて、やつと日露戦争は濟んだのですが、その日露戦争當時に借りました十五億の金は未だ外債として残つてゐる。さうしてその利子は既に三十億以上拂つて居ります、結局日露戦争で日本の得た所は何かといふと經濟的には餘り芳ばしいものではないやうです。これは軍隊は強いが政治家や政治家が悪いからだといふと云へるでせう。一番儲けたのはクインロープ・エンド・カンパニー・オブ・ニューヨーク、所が最近恐るべきことが起つた、十五億圓の金を貸して呉れて日露戦争を成功せしめて呉れたので洵に有難いことですが、實はジャコブ・シフが日本を使つてうまくロシヤと喧嘩をさせた。その猶太財閥が今度は支那を使つて日本と喧嘩をさせて居る。三十年前には日本を助けてロシヤ帝國を潰させたのです。それと同じ手です。それは日露戦争の前、ロシヤで猶太人の迫害を非常にやつた、ニコライ皇帝が非常に猶太人の虐殺をやりましたのでそれでジャコブ・シフは怒つた。さうしてタフト

大統領に米露國交の斷絶を即時實現しろといつたのですが、タフトはそれを斷行しなかつた。

八八

ジャコブ・シフはタフト大統領が米露國交斷絶を許諾しなかつたもんで、お爺さんはもう握手も何もしないで、「タフト君、覺へて居給へ、僕がロシア帝國を潰してやるから」とはつきり斷言して歸つて行つたさうです。その當時シフについて大統領官邸に行つたのが後の有名なストラウス大使です。それが日本に金を貸す動機になつて、それで日本に散々叩かして、金を貸して利子を取つて儲けた。これが常套手段なのです。それでもまだロシア帝國が瓦解しないのを見るとニューヨークから當時のニヒリスト、革命家、虛無主義者に一人に千ドル宛わたしてどん／＼ペテロスブルグに送りました。ロシアに入つて何か陰謀をやるといふものに皆千ドル宛持たしてやつた。それがどん／＼入つて行つて色々な内亂が起つた。最後にレーニンを送りました時には千七百萬ドルの金を持たしてやつた。これはその當時の祕密記録に載つて居ります。さうして遂にロシアを叩き潰して、共產黨國家を樹てさせた。それから後にタフトも叩き落してしまつた。さうしてルーズベルト、ウイルソン、フーズアといふやうな猶太財閥に忠勤をぬきん出る人をつぎ／＼に大統領にした。米國大統領になるには約四百萬ドルの選舉費が要る。これを出してやるのが皆クローブ・エンド・カンパニー・オブ・ニューヨーク。

今度のルーズベルト大統領のブレイントラストが全部一人残らず猶太人であるなどは別に不思議なことではありませぬ。それで米國人はホワイトハウス(白聖館)が「レッドハウス」(赤色館)になつたといつて居ります。共產黨もレーニン一派が造つたものですから、これは猶太人の一舞臺に過ぎない、フリーメーソンと同じやうなもので、さういふ譯で米國は全く猶太人の全權の支配下に鎖を附けられたやうなものです。どうすることも出来ない、例へば今日一億の人口を有つて居る米國を一日で潰させやうと思へばこれは猶太人の黄金王朝の命令一下忽ち出来る方法がある。それは米國の「アメリカン・ベーカーリー」「ユニナイテッド・ベーカーリー」といふ二つの大トラストで以て米國人の食糧殊にパンとメリケン粉のあらゆる會社、工場が猶太財閥の手中にある。皆様御承知のサンキストとか、リグレーといふやうなあの食料

1863

會社は全部この二つの大きなトラストの端くれに過ぎない。だから此奴が命令一下で米國人に食料を賣ることを禁じたら忽ちその日から米國人は大統領始め乞食まで飢死をしてみまふ。米國のパン屋といふパン屋は全部この二つのトラストの治下にある。これがパンのやうなものを主食とする時の危険です。日本でもこの頃パン食を非常に奨励して居りますが、日本人が若し全部米をパンにする、さうして製パン會社から配給するといふやうになりますと、すぐ猶太財閥がやつて来てこれを買占めてしまふ。そして一朝事ある時日本人は食料一切を奪はれてしまふといふことがないとも限らぬ（最近日本では米の作付反別が減少して小麦畑がどんく増加してゐる）。便利なやうであつて非常に恐いものです。製粉會社とか、倉庫といふものは非常に大きいから爆撃を第一番にうける心配もある。さういふ風にして米國に於ては今ジャコブ・シフの後をうけたボール・ワルブルがリーン・ローベンバンク・オヴ・カンパニー・ニューヨークに頑張つてゐる。彼は電話で大統領を全く小指の如く使つて居ると云はれてゐる。米國の大新聞の殆ど全部を手中に收めてゐるハーストは猶太人の主宰する所です。それからベルといふ電氣界の大王C・Eや、電話會社、電話、無線電話の一切を持つてゐるベル、これらも猶太人。もう一つ面白いのは米國の有ゆる活動寫眞會社、メトロ・ゴルドウイン・マイヤー始め、ユナイテッド・アーチスト、ユニヴァーサル、フォックス、パラマウントなど全部猶太人のものである。だからシネマのスターになるためには猶太人でないとスターになることが出来ませぬ。猶太人以外のものは絶対にスターになれぬ。チャーリー・チャップリンはその典型的のもので相變らず大きな勢力を以て君臨して居る。未だにその勢力が衰へぬ。それからデトリツヒ、またアンナベラ等々澤山居ります。英國といはず米國といはず、佛蘭西といはず俳優やシネマの一流スターといふのは皆猶太人でなければならぬことになつて居る。その位彼等は全世界の娛樂機關とそれらの會社を獨裁してゐる。それから政府、新聞、これだけに乗取つて居るのだから猶太人が集まればどんなことでも出来ないことはないといはれて居ります。今佛蘭西の如きは未だに王政復古黨といふのがありまして、カペシアン王朝の末のドギーズ大公（和蘭に亡命中）を迎へて王政復古を圖らうといふのであります。所がもう既にこの運動は始まりましてから二十何年になりますけれ

1864

ども、未だに成功しない。それ位總ての實力が完全に猶太人の手に入つて居る。政府も言論機關もそれから民衆の娛樂機關全部を網羅して居るからどうすることも出来ない。

所が面白いのはこの猶太人が未だに手を加へない國が世界中にたつた一つ、日本といふ國がある。日本だけは隔離されて居ります。それで日本は最後に乗つ取るのだといふのが猶太王朝の方針でこれが彼等のマークになつて居る、即ち「地球を蛇が取巻いて居つて(世界を支配し)、その口を最後に取りのこされた日本の上にあけてゐる」。最後に日本を一呑みにしやうと云ふのであります。

オリムピック大會の時も日の丸を蛇が取巻いて居るやうな旗が出てゐました。スポーツは猶太人の興行物の一つで、その國際的なもの即ちオリムピックの如きは勿論猶太人の高等戰術の一つであります。これが有ゆる彼等の書物、出版物のマークになつて居ります。(中略)

大體戰爭と革命を始めるのは全部猶太人であります。例へば獨逸の大戦後一九一八年の内亂を起さした、ベルリンの暴動を起した人達も全部猶太人、遠くはフランス大革命——これも三人の猶太人によつて起されて、そしてフランスは娘が大蛇に呑まれた如く猶太人に呑まれてしまつた。ナポレオンに軍資金を提供したのも猶太財閥です。

英國も遠くの昔、ネルソンがトラファルガーの戰爭當時から呑んで居る。佛蘭西を猶太財閥が呑んだのはナポレオン戰爭時代からであります。さうして大戦後スペインをひつくり返したのがベラ・クンといふ猶太人です。このベラ・クンは廣東の方に居つて共產黨の廣東司令部長をして居つたことがあります。若い頭のよい感心な男ですが、後モスコの革命煽動學校の校長さんになりました。大戦後單身飛び出していつてハンガリー帝國を一舉に三日で倒して天下を取つてしまつた、これは彼の力量の見本を示したものです。それからすぐスペインに飛んで行つてひつくり返してしまつて、たうとう今日スペインの人民戦線といふものを、かういふ風に大勢力にしたのは全くベラ・クンの働きなのであります。有ゆる戰爭は皆彼等の手によつて計畫され始められる。歐洲大戦の火蓋を切つたセルビヤの青年も猶太人であります。戰爭には

1865

必ず猶太人が働いて居るのでありまして、戦争ほどボロイものはない。歐洲大戦で猶太人がどれ程儲けたかといふことは「ザハロフ傳」や「世界兵器工場物語」をよめばすぐ分る。歐洲大戦中にマグドナルド或はサイモン、ヘンダーソン、ロイドジョージ、クレマンソーなどは最も忠勤なる働きを猶太王朝のためにしました。クレマンソーは日本では尊敬されて居りますが、この位悪いことをした人も少ないです。パナマ運河問題で四百萬フランも横領してそれがばれて三十年間もかくれて佗住居をしてゐた程です。偶々歐洲大戦が起つて花を咲かせることになつたが、そんなことをお話しして行つたら取止もなく幾らでも話がありますが、大體全世界の言論、通信、交通、金融、政治、民衆娛樂機關、これだけを手の中に收めて行くのは猶太人の偉大なる所で實に偉い。

實際猶太民族は偉いです。キリストを始め、ゲーテも猶太人です、モーゼも猶太人、それからメンデル、アインシュタイン、トーマスマン、ベルグソン等、皆猶太の一族で實に頭のよいことにはどこの國民も、どこの民族も驚く程で、ですから只今英國の如き佛蘭西の如き米國の如きは純然たる民族ではなくて、唯單に猶太の獨裁王朝に支配されて居る、經濟、金といふ見えない鎖でしばられた奴隷に過ぎない（これこそほんとうの「金しほり」です）。ですから英國といひソヴイェートといひ、米國といひ、何時でも對日行動となると、何か知らぬ黙約するやうに働いて居る。初めは日本に好意を示して居るやうだが、忽ち手の平を返すが如く共同作戦に入つて行くといふのは茲です。ですから我々は本當の敵、日支事變の本當の敵はもとより支那でなく全くその背景である猶太黄金王朝なのである。猶太財閥は上海の大きいビルといふビルを殆ど全部といつてよい程持つて居る所のダビットサツスーン、この殆ど上海の土地といふのは猶太人の土地です、二十年も上海に住んで居てそれを知らないやうな日本人が少くない。よく問題を起す英國大使ヒューゲッセン、或は工部局長の如き完全な猶太人です。殊にこの間國際聯盟の時間問題を起したライヒマン、或は支那の幣制改革をやつた財政顧問リースロス等々皆猶太人です。國際聯盟なるものは大戦終ると同時にジャコブ・シフの將來世界統一に都合よいやうにといふ深い魂膽からの命令でウィルソンが造つたものです。あれは平和の殿堂のやうにいはれて居りますが、その總長ド

ラモンドやアヴノール等有ゆる部長、課長一切が猶太人です。その當時の表を見ると猶太人の名前がずらりと並べてあるソヴィエト政府も重要な高官大官六百の中五百九十何人迄が猶太人。これは昨年の調査ですがそれ位猶太人といふものは勢力を持つて居ります。

扱、かういふことを申上げるは別に恐しいことであるといふのではなく、又それを排撃しなければならぬといふものでもない、偉い奴は偉いですけども、只我々はこの日支事變を契機として全世界の檣舞臺に乗り出さんとするのに、この全世界を支配して居る所の隠れたる祕密力、これをはつきり認識してかゝらないとどんな事になるかも知れませぬ、その點をよく認識すべきであるといふ意味から申上るのであります。現に一九三六年の危機といはれたのは日本を完全に圍んで居りまして、一路躍進を辿つてゐた日本の輸出は三十六年を契機として殆ど行詰つてしまつた。何故かといふと蘭領印度に猶太人の總督が送られ、英領印度は勿論、オーストラリアにも猶太人が總督となつて送られ、日本商品の市場は完全に封鎖されて了ひました。さういふ譯で日本の海外貿易なるものが全部猶太財閥に閉鎖されてしまつて居る形、さういふ猶太人をよく認識することが私共は必要だと思ひます。(中略)

佛蘭西で猛烈に敢然猶太財閥に戦をいどんだのはコチーといふ香水會社の主人ですが、彼は四億フランの財産と有名なコチー會社と、妻、有名なファイガロ及びアミード・ブールの二大新聞を猶太人に取り上げられてしまひました。可愛想にコチー會社の株を暴落させて買占めて乗取つて了つたのです。コチーは自分の生命とも魂とも育て、來た所の香水會社を取られ、自分の苦心經營して來た二大新聞も取られてしまひ、命を取られさうなのでコチーは本當に暗殺を恐れて逃げ隠れて、とう／＼スイツルの國境に近い山の中の自動車小屋の中で死にました。暗殺といふことが平然と行はれる國は佛蘭西です。つひ二、三週間前にミレーといふ大將が行方不明になつた。一、三年前にはクシエボフ將軍が巴里で行方不明になつてしまつた。かういふやうなことはざらにあります、このコチーはそれを恐れて隠れ隠れて逃げて行く間にとつと會社の株を買占られてしまつた。自分の力を注いだ新聞は買收されて本當に素寒貧になつて山の中で死んでしまつた。

實に悪辣なやり方です。猶太財閥を攻撃したが最後財産も首も飛びます。所が猶太人は豫定の如く世界を一先づ呑みこんでしまつて日本を最後に呑込まうとする機会が迫つて来た。この日支事變は支那大陸をやつてゐると思つたら大間違ひ、この邊でも尖端の斥候戦はどん／＼進んでゐる。現に日本の活動寫眞は全部バラマウント系にならうして居る。一番に没落したのは日活で、その次には松竹といふのが、バラマウント松竹となつて、最近はPCL、これで日本の活動寫眞會社は全部猶太系の金力に支配されたわけ。恐しいのはマツダ東京電氣（日本C・E）、ビクター、さういつた色々の工業會社が澤山ありますが、全部猶太人です。又、一方巧妙な國防社交クラブを組織してゐます。こゝに會員の方もあらうと思ひますが、ロータリークラブです。あれはフリーメーソンの一つの別働隊に過ぎません。非常にうまい組織になつて居ります。一業一人主義で、最も有力な人を網羅する集りで、東京に本部があり、×××方のお集りになる會館内にある。

ですから我々の耳に入らないやうな重大事實が彼等にはドン／＼筒抜けに分る。時々國から國へロータリークラブ團員として視察に来て、全國を巡廻して各地の大工業會社を見に行くんです。これは高等産業スパイなんです。まア一事業の巨頭に會つて話せばその全體の事業の傾向や實力はすぐ最も正確に分ります。實にやり方が巧妙に出来てゐます。さうして澤山の會費をとつて喜ばして祕密を喋らして居るといふやうな譯です。こゝにはロータリークラブの人も居られるかも知れませぬが……會長支部長は各國何處でも猶太人が猶太系です。

それから一つ困つたことが出来ましたのは、最近日本がクーン・ロープ——アメリカ猶太財閥から十億圓かりて滿洲に於ける大事業を起すといふのです。六分配當を保證するといふことになつて居る。この十億圓の金といふのが入るといふと滿洲建國の使命が重くなるのです。經濟的、財政的にやられてしまふ、心臓を侵されるやうなものです。猶太財閥獨特の手が出た譯です。かういふ風に日支事變も大略片がついてから、次に來るものはつまり世界中を支配して居る猶太民族と、僅か東海の孤島に三千年來閉籠つてゐる大和民族との正面衝突です。猶太人勝つか大和民族勝つかの時期になつて來た、これはどちらも同じやうな理想をもつて居る。猶太人も世界統一を目的として居る、それが三千年來、モーゼ以來

の目的、さうして祭政一致といふことをいつてモットーにして居る。日本も矢張り神道で、祭政一致といふことが政治の原理になつて居りますが、同じ理想で而も日本は八紘一宇四海同胞、といふことが日本の理想になつて居りますから、當然正面衝突をせざるを得ないことになつて居る。正面衝突は避け得られないです。猶太人はどうしても物質的に世界統一を目的としてゐる、日本人は政治的に精神的に世界統一、八紘一宇を目的としてゐる。この正面衝突は我々の力でどういふ結果をつけますか分りませぬけれども、物質的にも精神的にも負けてはならない筈です。精神的に大いに勝ちまして物質的に負ける、資本が十億入らうが支那のやうに八十億入らうが構はぬといふやうなことはいへないと思ふ、支那の如きは英國の投資だけで七十億はあるのです。それであんな風に蔣介石のやうに自分の國を復活せしめやうと努力したのは立派なもので、實に蔣介石は偉いと思ふのですが、自分の首つ玉に猶太財閥の綱をひつかけられた爲に已むなく今日の如く實に憐れな最後を遂げるが、うっかりこの二の舞をやつては申譯ないこと、思ふのですが、大體我々の氣持は蔣介石を目的に戦つて來たが、あれは黄金猶太王朝の操人形に過ぎない、人形と死物狂ひで格闘したり、よし人形を叩き壊して粉微塵にしてもそれを上で操つて覗いて居る猶太人は一寸も困りはしません。むしろ面白がつてゐるに違ひない、今後はどんな人形を出さうと思つてゐるかも知れない。この邊はよく認識して我々に、殊にもう日本の懐中の中まで手が入つて來て居ります、現に××や××の如きは、財閥、重工業（これは猶太人の新聞に出て居りますことですが）も我々のものだ、その他は我々のものだとちやんと表に出て居ります。凄いいんですよ、軍隊は勝つてくれた！これから國民外交です。從來のやうな外交ではいけません。全世界の國際財政經濟事情の奥の奥、内部の内部を知悉し、各國外交の裏の裏を讀んで行かなくてはなりません。

物質的方面で猶太人と接するのは、主に大阪乃至神戸邊りの實業家の方だらうと思ふ。とにかく猶太人は偉い民族です。學問の方に於きましてはアインシュタイン、ベルグソンといふやうな哲學者、文藝方面ではアプトンシンクレア、これはこの間英國の前皇帝を手に入れた凄いい猶太美人シンブソン夫人の從兄、前皇帝にそれを近づけたのが猶太系モルガン

財閥、これがあゝいふ芝居をやつた。英國皇帝を放り出したのが猶太人のマクドナルド、サイモン、チエンバレン、逃げて行かれた先がオーストリアはウキンナの猶太人ロスチャイルド家、何のことはないキャッチボールをして居るやうなもので、英國皇帝を擱へてアメリカに放つたり、オーストリアに放つたり、ロンドンから放り出したり、自由自在です。それを見て居るとよくこれだけ大きな芝居が打てるものだと思はれるやうです。(下略)

### ○ラヂオ修養講座案内

テ キ ス ト	題	放 送 日	時 間	講 師
日本精神と文學道	強く正しく誓願に生きよ	自六月一日	午前七時より 二十分間	東京帝國大學教授文學博士 久松潜一
芭蕉の心	佛心宗之三題	自十一月九日		立正大學教授、日蓮宗教學部長 馬田行啓
先人の偉訓	神・人・信の仰	自十一月十八日		俳人(芭蕉研究家) 荻原井泉水
人を務めよ		自十二月二日		臨濟宗東福寺派管長 永井道
		自十二月十五日		東京府立第五高等女學校校長 白石正邦
		自十二月二十六日	東京帝國大學教授文學博士 石橋智信	
		自三月十日	東京文理科大學教授文學博士 諸橋徹次	

右の内久松、荻原、白石、諸橋四氏の講話の梗概を掲載す。